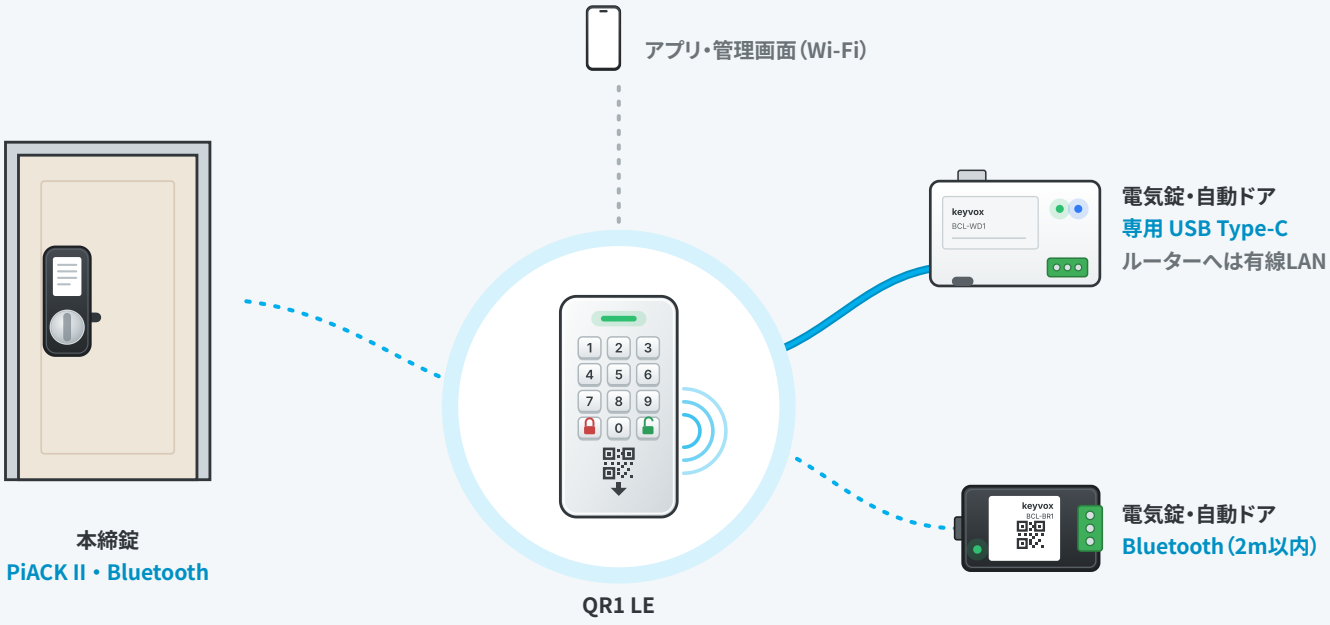


INSTALLATION MANUAL

取り付けマニュアル 総合版

QR1 LE と、扉に合わせてつなぐ機器（PiACK II・BR1・WD1）、BX1、スマートロッカーの取り付け手順を 1 冊にまとめました。準備から動作確認まで、作業する順番に並んでいます。

MODELS
BCL-QR1 LE / PiACK II / BCL-BR1 / BCL-WD1 / BCL-BX1 / KEYVOX Locker

DOCUMENT NO.
KV-H00

REVISED
2026年11月6日

WEB MANUAL

ABOUT THIS MANUAL

このマニュアルについて

QR1 LE と、扉に合わせてつなぐ機器（PiACK II・BR1・WD1）、BX1、スマートロッカーの取り付け手順を 1 冊にまとめました。準備から動作確認まで、作業する順番に並んでいます。

収録している内容

章	内容	対象の機器	目安時間
01	**設置前の確認**	QR1 LE・PiACK II Smart・BR1 電気錠モジュール・WD1 有線LANモジュール	約10分
02	**QR1 LE の取り付け**	QR1 LE	約30分
03	**PiACK II の取り付け（本締錠）**	PiACK II Smart	約30分
04	**電気錠・自動ドアに BR1 をつなぐ**	BR1 電気錠モジュール・QR1 LE	約30分
05	**電気錠・自動ドアに WD1 をつなぐ**	WD1 有線LANモジュール・QR1 LE	約30分
06	**設置後の動作確認**	QR1 LE・PiACK II Smart・BR1 電気錠モジュール・WD1 有線LANモジュール	約5分
07	**BX1 キーボックスの設置**	BX1 キーボックス	約15分
08	**スマートロッカーの初期設定**	スマートロッカー	約40分

記号の見方

⚠ 注意 必ず守ること

守らないと、故障・やり直し・思わぬ動作につながることがあります。

ⓘ 補足 知っておくと役立つこと

作業のコツや、状況によって変わる点を説明します。

→ 図の青い部分

作業する人が行う動きと、注目する場所を青で示します。

最新版は Web でご覧いただけます

Web 版では、届いた状態と扉の種類を選ぶと、必要なガイドだけが作業の順番に並びます。手順は改良に合わせて更新しています。

keyvox.co/manuals

CONTENTS

目次

– ご使用上の注意 7

CH.01 設置前の確認 8

1 届いた構成を確かめる 8
2 扉勝手の確認 9
3 同梱物の確認 10
4 仕様と設置環境 12

CH.02 QR1 LE の取り付け 13

1 同梱物を確かめる 13
2 本体を準備する 14
3 給電方法と配線ルートを決める 15
4 鉄板を壁に取り付ける 17
5 ケーブルを本体につなぐ 19
6 本体を鉄板に固定する 21
7 電源を入れる 21
8 仕上げ 23

CH.03 PiACK II の取り付け（本締錠） 24

1 取り付けられる扉か確かめる 24
2 同梱品を確認する 25
3 室内側のサムターンを外す 25
4 アダプターを取り付ける 27
5 ブラケットを扉に固定する 28
6 室内機を取り付ける 30
7 オートロックセンサーを取り付ける 31
8 オートロックを確認する 32

CH.04 電気錠・自動ドアに BR1 をつなぐ 33

1 同梱物を確かめる 33
2 接続の全体像 34
3 制御盤と配線する 35
4 BR1 を設置して給電する 35
5 QR1 に給電する 36
6 設置後の確認 37

CH.05 電気錠・自動ドアに WD1 をつなぐ 39

1 用意するもの 39
2 接続の全体像 40
3 制御盤と配線する 41
4 LAN と電源をつなぐ 41
5 QR1 LE とつなぐ 42
6 設置後の確認 43

CH.06 設置後の動作確認 44

1 接続先の状態を確かめる 44
2 解錠テスト 46
3 取り付け確認を依頼する 46

CH.07 BX1 キーボックスの設置 47

1 同梱品と設置場所を確かめる 47
2 電池を入れる 48
3 設置方法を選ぶ 49
4 付属の部材で穴と隙間を塞ぐ 50
5 電池が少なくなったとき・切れたとき 50
6 保証とサポート 51

CH.08 スマートロッカーの初期設定 52

1 機器の設定 52
2 パネルを閉めて起動する 54
3 パネル（Android）の初期設定 54
4 KEYVOX Locker アプリの設定 55
5 解錠テスト 57
6 運用開始前の設定 57
7 MAC アドレスを確認する 58

付録 製品仕様 59

付録 よくある質問 60

SAFETY & HANDLING

ご使用上の注意

安全に、長くお使いいただくための注意事項です。取り付けの前に必ずお読みください。

警告
守らないと、火災・感電・けがにつながるおそれがあります。

注意
守らないと、故障や、解錠できなくなる原因になります。

お願い
長く安心してお使いいただくために。

警告 安全のために必ず守ること

- 本体・AC アダプターを分解・改造・修理しないでください。
- 付属の AC アダプターと専用ケーブル以外は使わないでください。指定の電圧以外で使うと、発熱・故障の原因になります。
- 濡れた手で AC アダプターを抜き差ししないでください。ケーブルを傷つける・無理に曲げる・重いものを載せることも避けてください。
- 煙が出る・異臭がする・異常に熱いときは、すぐに電源（AC アダプター・電池）を外し、サポートへご連絡ください。
- 電気錠・自動ドアの制御盤への配線は、電源を切った状態で、電気工事の知識のある方が行ってください。

注意 非常時の備え

- 電池切れ・停電・通信の不調・故障に備えて、物理鍵などの非常用の解錠手段を必ずご用意ください。物理鍵は室内に置いたままにせず、すぐ取り出せる場所で保管してください。
- 電気錠・自動ドアでは、解錠できなかった場合の解錠方法（非常用の解錠ボタンなど）を、メーカーまたは施工店と相談のうえご用意ください。
- 管理者暗証番号は第三者に知られないように管理し、初期の番号のまま使わないでください。

注意 設置する場所

- 仕様に記載の温度・湿度の範囲で、直射日光が当たらず、結露・氷結しない場所に設置してください。
- BR1・WD1 には防水性能がありません。屋内に設置するか、屋外では防水ボックスに収めてください。
- QR1 LE・BX1 は防水（保護等級5）ですが、水没や高圧洗浄には耐えません。BX1 の防水は扉を閉じた状態に限ります。
- Bluetooth・Wi-Fi は、金属の扉・コンクリートの壁・分電盤などで弱くなります。機器どうしは見通し 2m 以内を目安に設置してください。
- 電子レンジや他の無線機器の近くでは、通信が不安定になることがあります。

注意 電池について

- 新しい単三形アルカリ乾電池を使い、＋と－の向きを確かめて入れてください。
- 新旧の電池、種類やメーカーの違う電池を混ぜて使わないでください。交換するときは全部を同時に替えてください。
- 電池残量の通知が届いたら、早めに交換してください。長期間使わないときは電池を取り出してください。
- 液漏れした電池には素手で触れず、拭き取ってから新しい電池に交換してください。

お願い 日常のお手入れ

- 汚れは、乾いたやわらかい布か、水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布で拭いてください。
- シンナー・ベンジン・アルコールなどの溶剤や、研磨剤は使わないでください。表面や文字が傷みます。
- QR コードの読み取り窓とキーパッドは、汚れや水滴が付いたままにしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

お願い ご利用にあたって

- ファームウェアとアプリは最新の状態でお使いください。動作の安定化や不具合の修正が含まれます。
- 機器を譲渡・廃棄するときは、アカウントから機器を削除し、初期化してください。
- 廃棄するときは、電池を取り外し、お住まいの自治体の区分に従ってください。
- 保証の期間と条件は、製品に同梱の保証書をご確認ください。

CHAPTER 01

01 設置前の確認

届いたものを確かめます。届いた機器が扉の種類に合っているか、PiACK II の勝手が扉と合っているか、同梱物がそろっているか、設置環境が仕様に合っているかを、取り付けの前に確かめます。

取り付け | QR1 LE | PiACK II Smart | BR1 電気錠モジュール | WD1 有線LANモジュール

目安時間

約10分

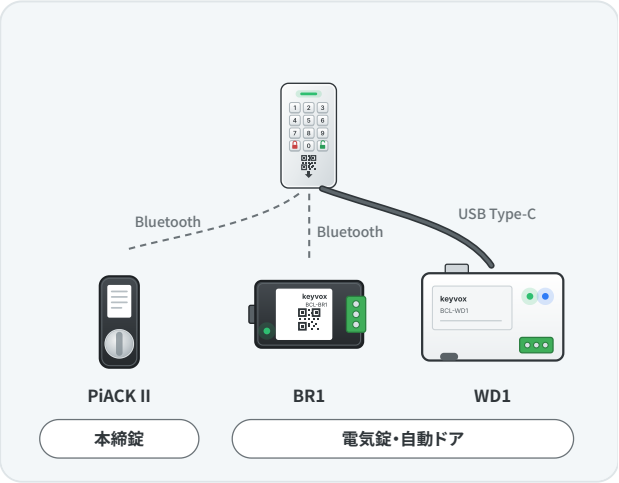
STEP 01

1 届いた構成を確かめる

QR1 はどの構成でも扉の横に取り付けます。QR1 といっしょに届いた機器が、扉の種類に合っているか確かめます。違う場合は取り付けずに KEYVOX サポート（support.keyvox.co）にご連絡ください。

1.1 扉の種類と届いた機器が合っているか確かめる

1. 本締錠（サムターンのある一般的な扉）は PiACK II を使います。QR1 とは Bluetooth でつながります。
2. 電気錠・自動ドアは BR1 を使います。制御盤につなぎ、QR1 とは Bluetooth でつながります。
3. 電気錠・自動ドアで有線 LAN を使う場合は WD1 を使います。QR1 LE と専用の USB Type-C ケーブルでつなぎます。



補足 BR1 と QR1 を USB ケーブルでつなぐのは給電のためです。通信は Bluetooth で行います。

STEP 02

2 扉勝手の確認

PiACK II は、オンボーディングでお客様が申告した扉勝手（右勝手／左勝手）のとおりに出荷されます。届いた PiACK II の勝手が扉と合うか確かめ、違う場合は取り付けずに KEYVOX サポート（support.keyvox.co）にご連絡ください。

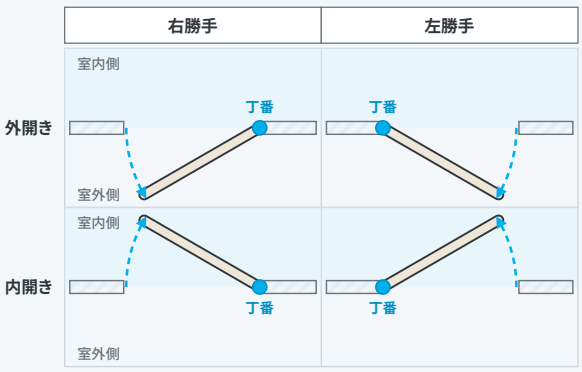
設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN 開き戸

2.A1 丁番の位置で右勝手・左勝手を決める

扉の外側（ふだん鍵を使う側。お部屋に入るときに立つ側）に立って扉を見ます。丁番（ちょうつがい）が右にあれば右勝手、左にあれば左勝手です。手前に引く扉でも向こうに押す扉でも、外側から見た丁番の位置だけで決まります。

1. 扉の外側に立ちます。
2. 丁番が左右どちらにあるかを確かめます。
3. 丁番が右なら右勝手、左なら左勝手です。届いた PiACK II の勝手と同じか確かめます。

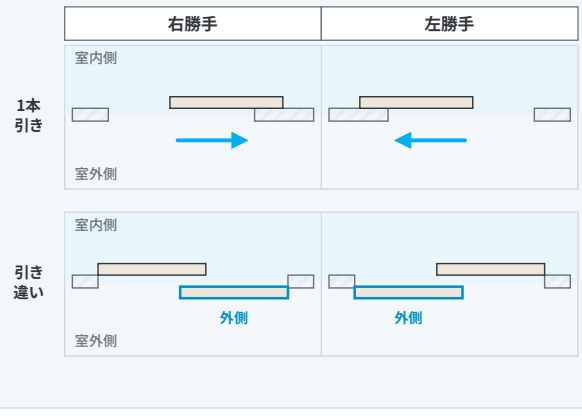


> ⚠ **注意** 判断に迷うときは、取り付けを進めずにご相談ください。扉を外側から撮った写真を添えてお知らせいただければ、当社で確認します。

B PATTERN 引き戸

2.B1 引く方向・重なりで右勝手・左勝手を決める

1. 通常の引き戸（1本引き）は、右側に引くものが右勝手、左側に引くものが左勝手です。
2. 引き違い扉は、右側の扉が外側（室外側）にあるものが右勝手、左側の扉が外側にあるものが左勝手です。
3. 届いた PiACK II の勝手と同じか確かめます。



上が室内側、下が室外側の平面図

STEP 03

3 同梱物の確認

箱を開けたら、取り付けを始める前に同梱物がそろっているか確かめます。

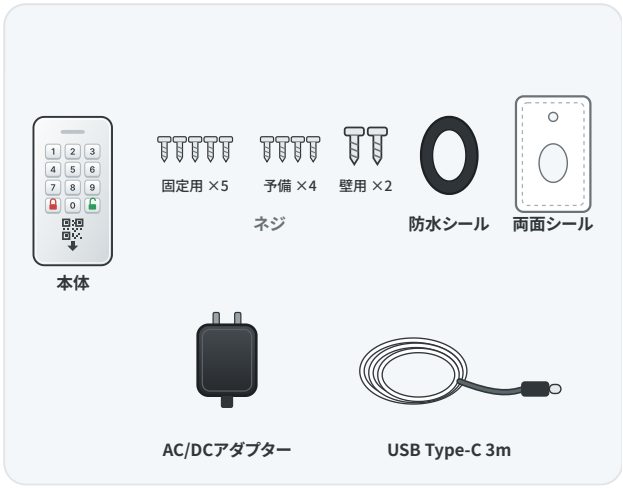
設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN **QR1 LE**

3.A1 本体と付属品を確かめる

1. QR1 本体があることを確かめます。
2. AC/DC アダプターと USB Type-C ケーブル（3m）があることを確かめます。
3. 防水シールと、壁への貼り付け用の両面シールがあることを確かめます。

> ⚠ **注意** 防水シールは、QR1 本体がぐらつかないよう固定するためにも必ず取り付けます。



3.A2 ネジの本数を確かめる

1. 本体と鉄板（ブラケット）の固定用ネジが 5 本あります（うち 3 本は予備）。
2. 内部基板用の予備ネジが 4 本あります（すべて予備）。
3. 鉄板を壁に取り付けるネジが 2 本あります。

> ℹ **補足** コンセントボックスやはさみ金具に取り付けるためのネジは同梱されません。現場に合わせてご用意ください。

B PATTERN BR1

3.B1 本体と DC アダプターを確かめる

電気錠・自動ドアに設置する場合の同梱物です。

1. BR1（BLE モジュール本体）があることを確かめます。
2. DC アダプター（コード長 110cm）があることを確かめます。



3.B2 必要に応じて別売品を用意する

QR1 付属の 3m の USB ケーブルでコンセントまで届かない場合は、6m 延長ケーブル（別売）を用意します。

C PATTERN PiACK II

3.C1 本体と付属品を確かめる

本締錠に取り付ける場合の同梱物です。付属の部品は錠の型式に合わせたものが入っています。

1. PiACK II 本体（室内側に付ける機器）があることを確かめます。
2. 取り付け用のアダプター・ライナー（スペーサー）・ネジの袋があることを確かめます。
3. 単3電池 4 本があることを確かめます。

> **補足** 部品の使い方はPiACK II の取り付け（本締錠）にあります。

D PATTERN **WD1**

3.D1 本体と付属品を確かめる

電気錠・自動ドアに有線 LAN で設置する場合の同梱物です。

1. WD1 本体があることを確かめます。
2. AC/DC アダプター（コード長 1.5m）があることを確かめます。
3. QR1 LE とつなぐ専用の USB Type-C to C ケーブル（3m）があることを確かめます。

> **補足** LAN ケーブルは同梱されません。現場に合わせてご用意ください。つなぎ方は**電気錠・自動ドアに WD1 をつなぐ**にあります。

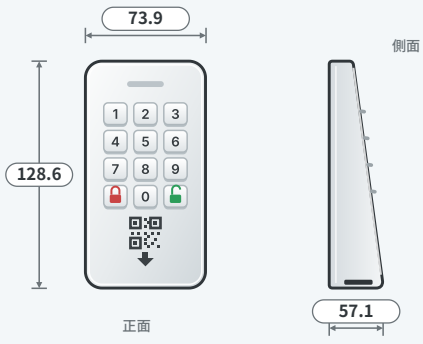
STEP 04

4 仕様と設置環境

取り付ける場所が QR1 の使用環境に合っているか確かめます。

4.1 QR1 の寸法を確かめる

1. 本体の寸法は W73.9 × L128.6 × D57.1 mm です。
2. 重さは 325g です。
3. 取り付ける壁面に、本体と鉄板が収まる広さがあるか確かめます。



4.2 使用環境を確かめる

1. 使用温度は -30℃〜50℃、湿度は 20%〜90% です（結露・氷結しないこと）。
2. 直射日光が当たらない場所に取り付けます。
3. 防水性能は JIS C0920 保護等級 5 です。
4. 電気定格は 5V 1A です（100V 用の AC/DC アダプターが付属します）。

> **補足** 仕様表（2023年5月 第2版）の値で、QR1 LE も同じです。

CHAPTER 02

02 QR1 LE の取り付け

QR1 を扉の横の壁に固定し、給電するまでの手順です。接続する機器（PiACK II・BR1 など）の設置とあわせて行います。

取り付け　QR1 LE

目安時間
約30分

用意するもの
- プラスドライバー
- 両面テープ または 木ネジ
- 拭き取り用の布
- 配線モール（必要に応じて）

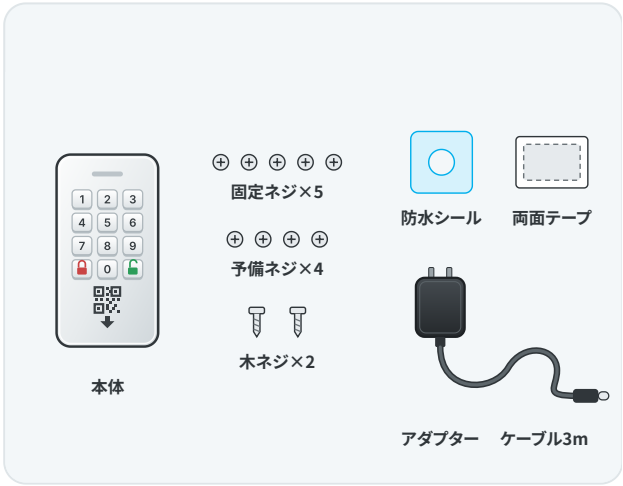
始める前に
- 同梱物がそろっていること
- 給電方法（コンセント／BR1 経由／WD1 経由／電池）を決めていること

STEP 01

1 同梱物を確かめる

1.1 同梱物を確かめる

1. QR1 本体（背面に鉄板が付いています）を確かめます。
2. 本体を鉄板に止めるネジ5本（うち3本は予備）と、内部基板用の予備ネジ4本を確かめます。
3. 鉄板を壁に止める木ネジ2本、防水シール、壁に貼る両面テープを確かめます。
4. AC/DC アダプターと USB ケーブル（3m、壁側が USB Type-A、本体側が Type-C）を確かめます。



> ⚠ **注意** コンセントボックスやハサミ金具に止めるネジは同梱されていません。現場に合わせて用意してください。

1.2 必要に応じて別売品を用意する

付属の 3m ケーブルでコンセントまで届かない場合は、QR1 用 6m 電源アダプターを用意します。

STEP 02

2 本体を準備する

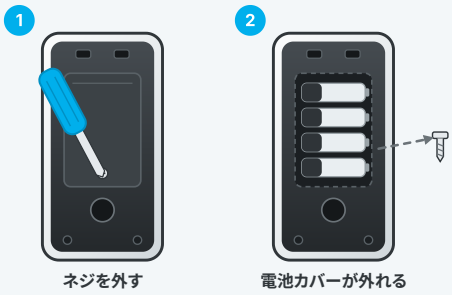
2.1 鉄板（ブラケット）を外す

箱から本体を取り出し、背面に付いている鉄板を外します。鉄板は上部のツメで本体に掛かっているので、引っ張って外します。鉄板は先に壁へ固定します。



2.2 電池カバーを外す

背面下部のネジ1本をドライバーで外し、上部のツメを外して電池カバーを開けます。QR1 LE を電池で使う場合は、ここで単三電池4本を入れます。



STEP 03

3 給電方法と配線ルートを決める

QR1 の電源の取り方は4通り（コンセント・BR1 経由・WD1 経由・電池）です。鉄板を貼る前に、ケーブルをどこから通すか決めておきます。

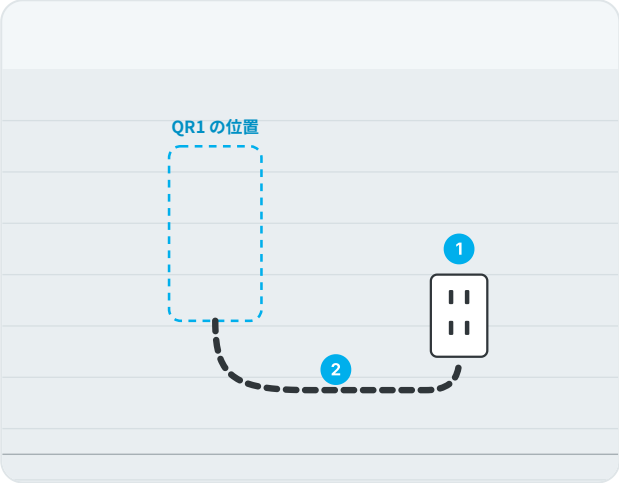
設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN コンセントから

3.A1 コンセントまでの配線ルートを確認する

1. コンセントの位置を確認します。
2. QR1 からコンセントまで、ケーブルをどこに通すか決めます。

> **補足** 付属のケーブル（3m）で届かない場合は、QR1 用 6m 電源アダプターを使えます。扉の下を通して、室内のコンセントまで配線することもできます。

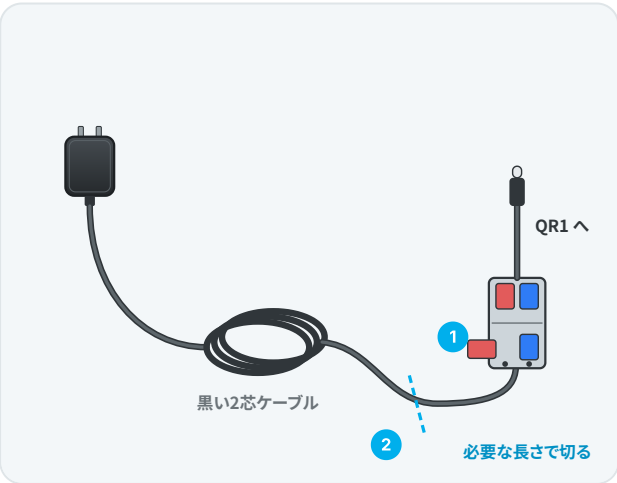


B PATTERN 6m 電源アダプター

3.B1 ケーブルを必要な長さで切る

6m 電源アダプターは、途中のレバー式コネクタで切った線をつなぎ直して使います。

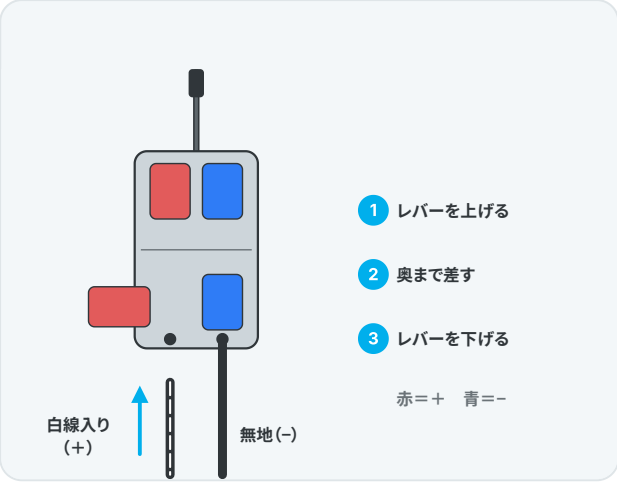
1. コンセントから QR1 までに必要な長さを確かめます。
2. コネクタのアダプター側（下段）の赤と青のレバーを90度上げ、線を抜きます。
3. 黒い2芯のケーブルを、必要な長さで切ります。



3.B2 切ったケーブルをコネクタに差し直す

1. 白い線が印刷された線を、赤いレバー（＋）の側に奥まで差し込み、レバーを下げます。
2. 無地の黒い線を、青いレバー（−）の側に奥まで差し込み、レバーを下げます。
3. 線を軽く引っ張り、抜けないことを確かめます。

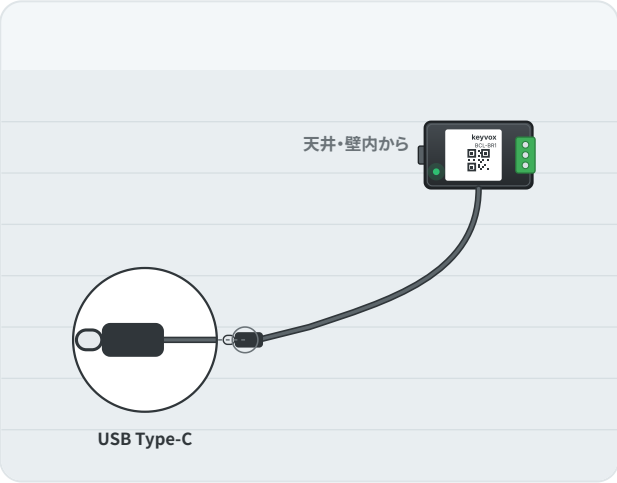
> ⚠ **注意** ＋と−を逆にしたり、線同士をショートさせたりしないでください。



C PATTERN BR1 経由

3.C1 BR1 から来ている USB ケーブルを確認する

電気錠・自動ドアの扉では、BR1 から配線された USB ケーブルで QR1 に給電します。ケーブルの先端が USB Type-C であることを確認します。

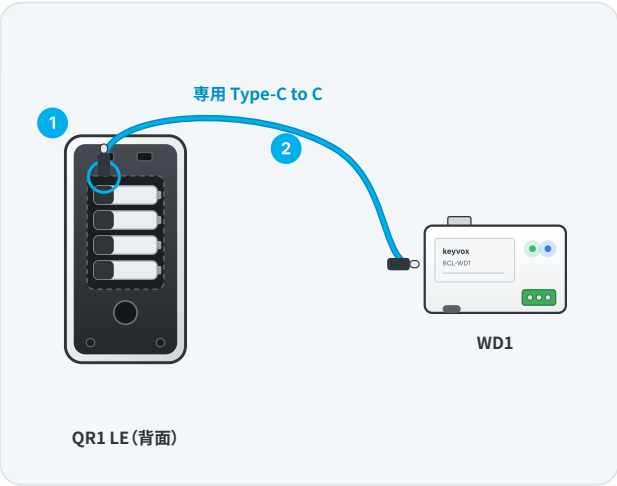


D PATTERN WD1 経由

3.D1 WD1 から来ている USB Type-C ケーブルを確認する

WD1 を使う扉では、WD1 付属の専用 USB Type-C to C ケーブルで QR1 LE に給電し、通信もこのケーブルで行います。両端が USB Type-C であることを確認します。

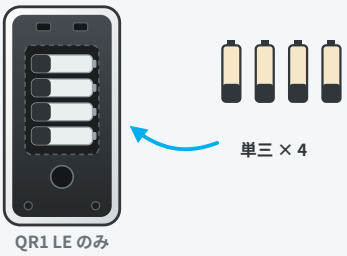
> ⚠ **注意** 市販の USB Type-C ケーブルは使えません。必ず WD1 に付属の専用ケーブルを使います。



E PATTERN **電池**

3.E1 単三電池4本で動かす

QR1 LE は単三電池4本で約半年動きます。配線が不要なので、次の「鉄板を壁に取り付ける」でケーブルの穴を気にせず貼れます。



---

4 STEP 04

鉄板を壁に取り付ける

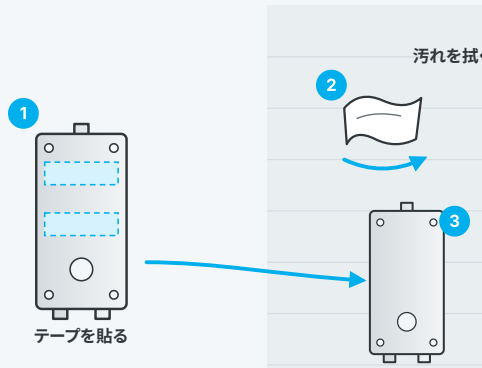
取り付ける面に合わせて方法を選びます。鉄板は平らな面を壁側にします。ケーブルを使う場合は、どの方法でも鉄板の中央の穴に通してから固定します（壁側に来るのは USB Type-A の大きい方の端子です）。

設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN **両面テープ**

4.A1 両面テープで貼る

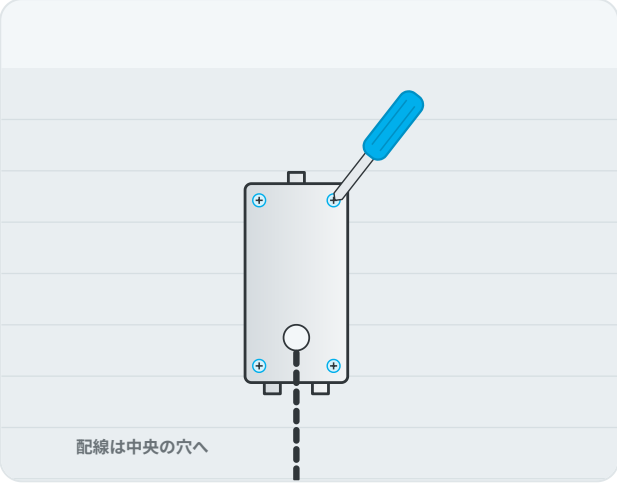
1. 鉄板の外側に両面テープを貼ります。
2. 配線ルートに合わせて、中央の穴にケーブルを通します。
3. 取り付ける壁の汚れを拭き取ります。
4. 鉄板を壁に貼り付けます。



B PATTERN ネジ止め

4.B1 壁にネジで止める

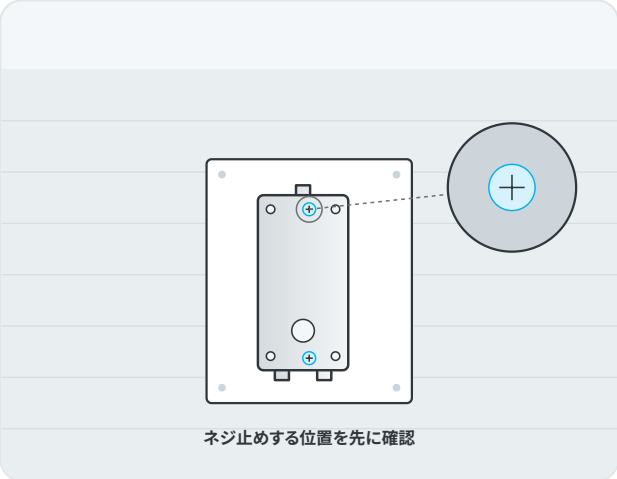
1. 配線ルートに合わせて、中央の穴にケーブルを通します。
2. 取り付ける壁の汚れを拭き取ります。
3. 四隅の穴で鉄板を壁にネジ止めします。



C PATTERN ボックス・金具

4.C1 コントロールボックスやハサミ金具に止める

1. ネジ止めできる位置を先に確認します。
2. 配線ルートに合わせて、中央の穴に USB ケーブルを通します。
3. 鉄板をボックスにネジ止めします。



STEP 05

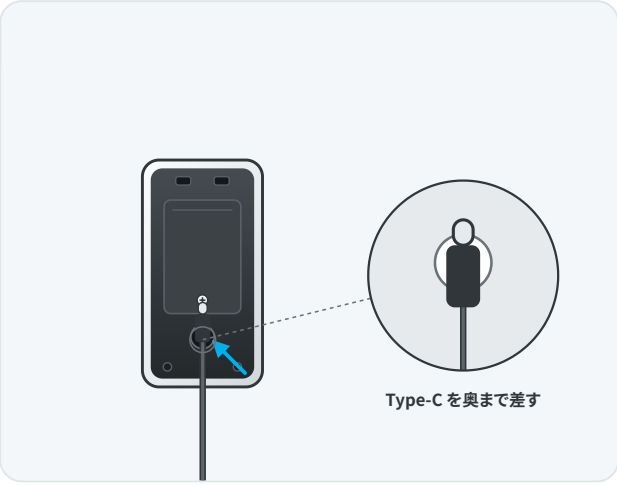
5 ケーブルを本体につなぐ

電池だけで使う QR1 LE はこの章を飛ばします。

5.1 USB Type-C を差し込む

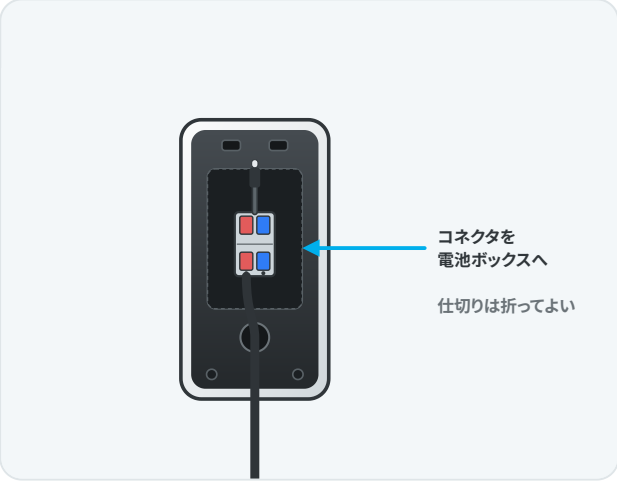
差し込み口は、本体背面の電池ボックスの上にあります。USB ケーブルの Type-C 端子を奥まで差します。

> **補足** QR1 LE も、ケーブルをつなげば電源で動かせます。



5.2 6m 電源アダプターのコネクタを収める（使う場合のみ）

1. レバー式コネクタを、電池ボックスの中に収めます。
2. 電池ボックスの仕切りが邪魔な場合は、折って構いません。
3. コネクタを収めたまま、Type-C を差し込みます。

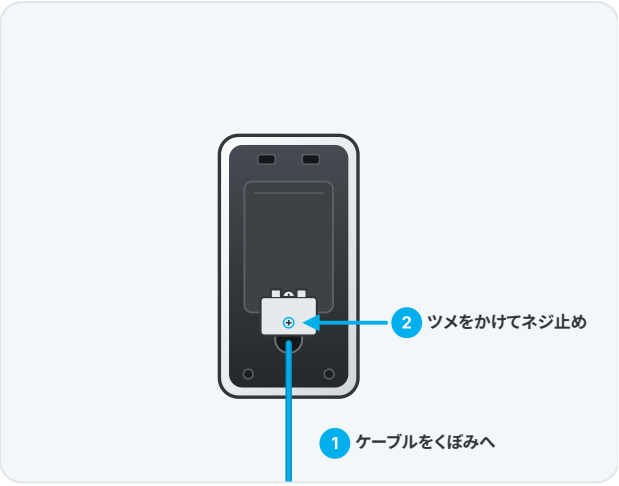


設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN 本体の下から出す

5.A1 ケーブルを下のくぼみに通す

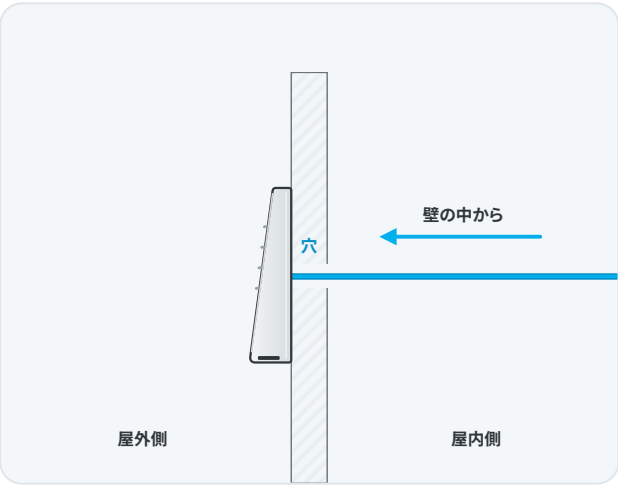
1. ケーブルを本体下部の配線用のくぼみに入れます。
2. 内側の鉄板のツメを掛けて取り付けます。
3. 内側の鉄板をネジ止めします。



B PATTERN 壁の裏から引き込む

5.B1 壁の穴から本体の裏へ通す

1. 壁に USB ケーブルを通す穴を開けます。
2. ケーブルを穴に通します。
3. 内側の鉄板（電池カバー）の中央のゴムを破り、ケーブルを通します。
4. 内側の鉄板のツメを掛けて取り付けます。
5. 内側の鉄板をネジ止めします。



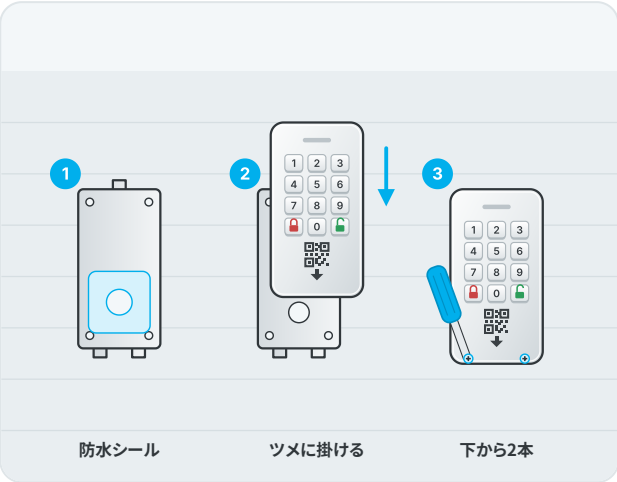
STEP 06

6 本体を鉄板に固定する

6.1 防水シールを貼り、ツメに掛けてネジで止める

1. 鉄板の中央の穴に合わせて防水シールを貼ります。
2. 鉄板のツメ（上に1か所、下に2か所）を本体裏側の穴に入れて掛けます。
3. 下から見て鉄板の穴と本体の穴がずれないよう、本体を押さえます。
4. 本体下部の穴から、2本のネジで固定します。

> ⚠ **注意** 防水シールは、本体がぐらつかないよう固定する役目もあります。必ず貼ってください。



STEP 07

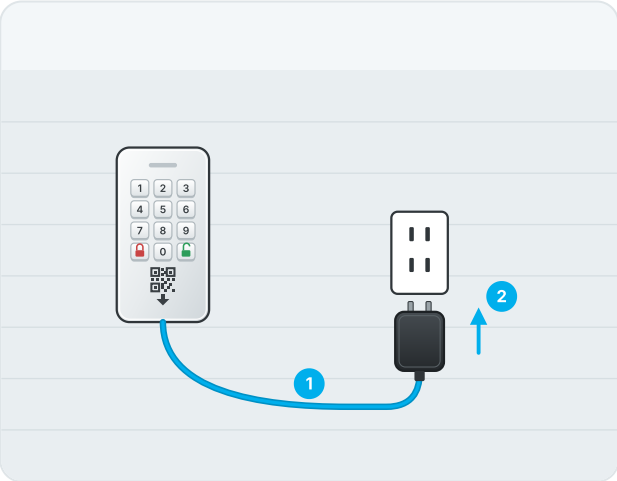
7 電源を入れる

設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN **コンセントから**

7.A1 AC アダプターにつなぐ

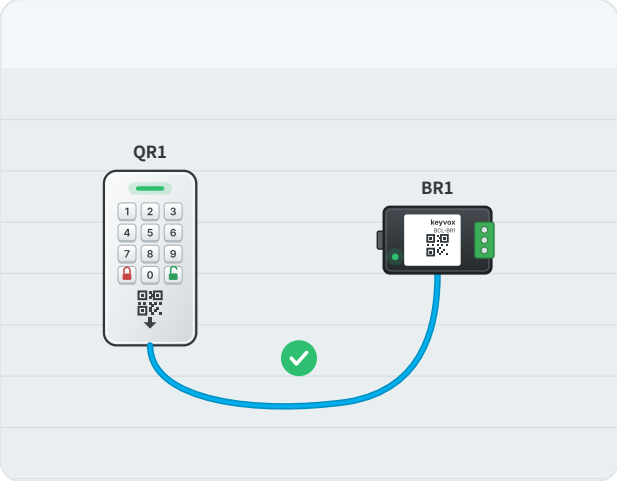
1. USB ケーブルと AC アダプターをつなぎます。
2. AC アダプターをコンセントに差します。



B PATTERN BR1 経由

7.B1 BR1 とつながっていることを確認する

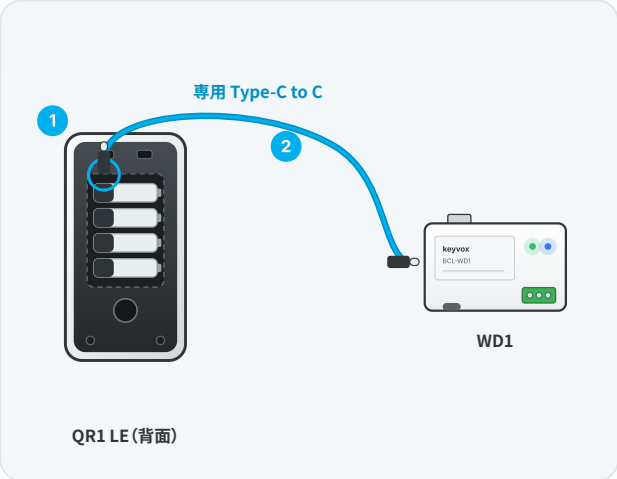
USB ケーブルで BR1 と QR1 がつながっていれば、BR1 から給電されます。



C PATTERN WD1 経由

7.C1 WD1 とつながっていることを確認する

1. 専用の USB Type-C ケーブルで WD1 と QR1 LE がつながっていることを確かめます。
2. WD1 に電源（AC アダプターまたは PoE）が入っていれば、WD1 から QR1 LE に給電されます。



STEP 08
8 仕上げ

8.1 配線をモールで覆う

露出した配線は、必要に応じて配線モールで覆います。



動画で見る

取り付けの一連の流れ	youtu.be/9XzJ-BFTzB4
動画マニュアル #1 QR1 の取り付け方	youtu.be/-s9iSlDUFRs
動画マニュアル #2(1) QR1 LE の給電方法（Type-C・壁穴なし）	youtu.be/D5rODQqtcZ4
動画マニュアル #2(2) QR1 LE に給電する（Type-C・壁穴あり）	youtu.be/ZYJOH0ue_-4
動画マニュアル #2(3) QR1 LE に給電する（単三電池）	youtu.be/TMfgjup2HTU
動画マニュアル #3 ブラケットに QR1 LE を取り付ける	youtu.be/kEqL2kLd9Go

CHAPTER 03

03 PiACK II の取り付け（本締錠）

本締錠の室内側サムターンを外し、PiACK II の室内機とオートロックセンサーを取り付けるまでの手順です。美和ロックの LA / DA 系と LSP / TE 系で、サムターンの外し方とネジが異なります。

取り付け　PiACK II Smart

目安時間

約30分

用意するもの

- プラスドライバー
- 精密ドライバー（LA / DA 系）
- ラジオペンチ（LA / DA 系）

始める前に

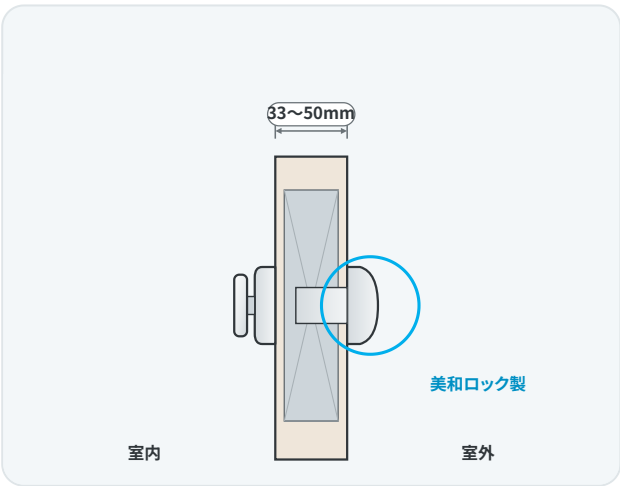
- 扉勝手（右勝手・左勝手）を確認していること
- 錠前が LA / DA 系か LSP / TE 系かを確認していること
- PiACK II の同梱品がそろっていること

STEP 01

1 取り付けられる扉か確かめる

1.1 錠前と扉の条件を確認する

1. 錠前が美和ロック製で、シリンダーが U9 / UR / PR / JN のいずれかであることを確認します。
2. 扉の厚さが 33mm 以上 50mm 以下（41mm・49mm を除く）であることを確認します。
3. 扉の表面にモールなどの凹凸がなく、室内機を当てられる平らな面があることを確認します。



補足 対応する錠前: LA / LAF / LEF / LE / MA / LD / DA / DAF / LSP / TE / BH / DZ / プッシュプル錠。長座付きの錠前や、木製扉では取り付けられない場合があります。

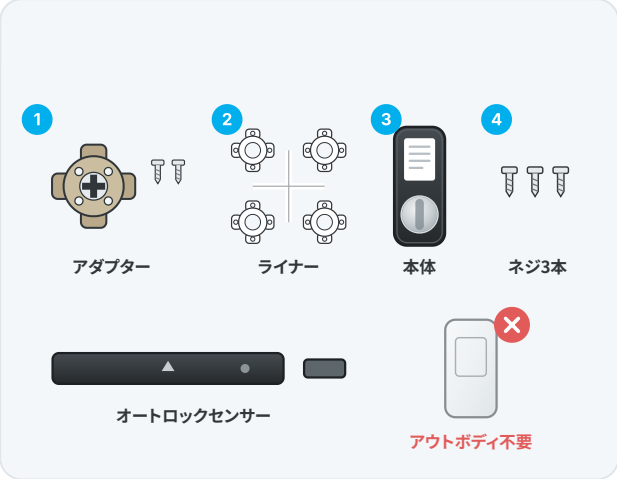
STEP 02

2 同梱品を確認する

2.1 使う部品をそろえる

1. アダプターとネジが入った袋（①）を用意します。
2. 白い部品（ライナー）が入った袋（②）を用意します。
3. 室内機の本体（③）と、3本のネジが入った袋（④）を用意します。
4. オートロックセンサー（細い棒と小さい磁石）と、単三電池4本・単四電池2本を用意します。

> ⚠ **注意** フロント（アウト）ボディは使いません。室外側には QR1 を取り付けます。



STEP 03

3 室内側のサムターンを外す

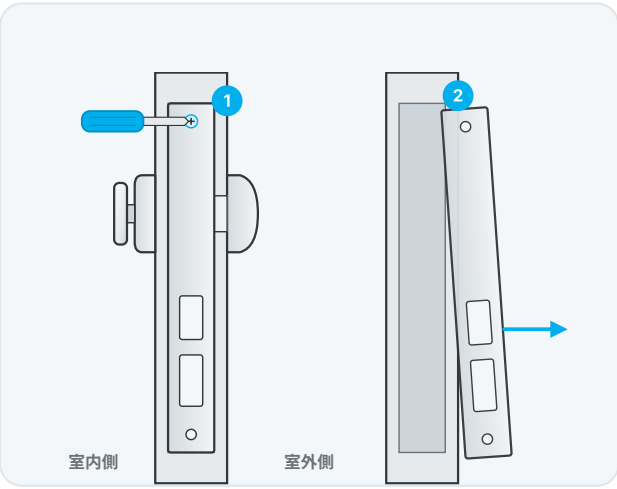
錠前の系統によって外し方が違います。

設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN **LA / DA 系**

3.A1 扉の側面のプレートを外す

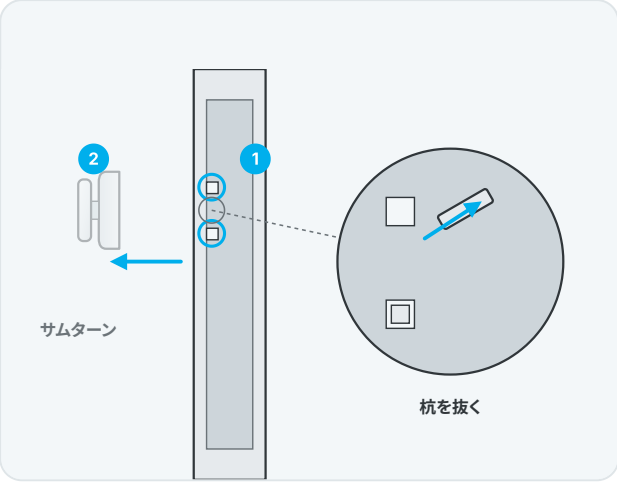
1. 扉の側面（錠前のフロント）のネジを外します。
2. 側面のプレートを引き抜いて外します。



3.A2 杭を2本抜いてサムターンを外す

1. 室内側にある2本の杭を確認します。
2. 精密ドライバーで杭を起こし、ラジオペンチで引き抜きます。
3. 室内側のサムターンを手前に引いて外します。

> ⚠ **注意** 抜いた杭はアダプターの固定に使います。なくさないように保管してください。



B PATTERN LSP / TE 系

3.B1 ネジ穴が無い場合は、回して外す

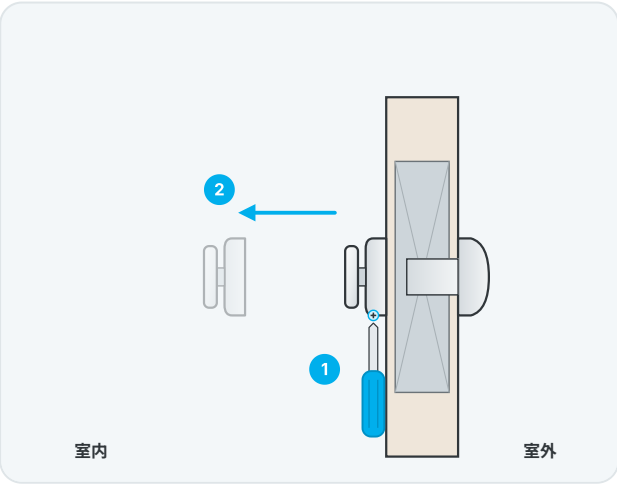
室内側のサムターンを反時計回りに回すと外れます。

> ⚠ **注意** 室外側のシリンダーも外れて落ちます。外側を手で押さえながら作業してください。



3.B2 ネジ穴が有る場合は、ネジを緩めて外す

サムターンの台座の側面にあるネジを緩め、サムターンを引き抜きます。

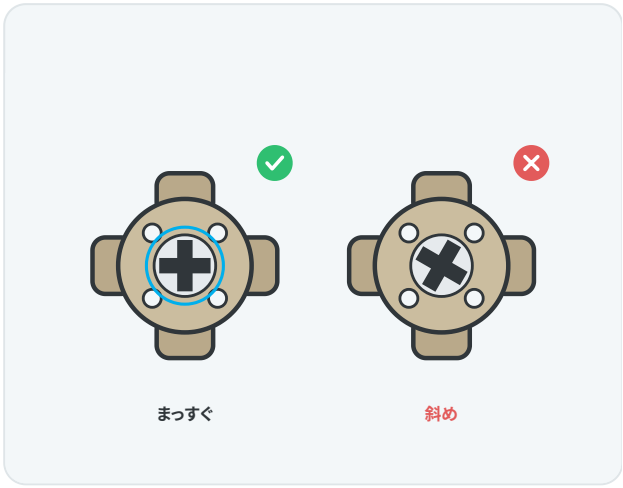


STEP 04

4 アダプターを取り付ける

4.1 十字軸部をまっすぐにして差し込む

アダプター（①の袋）を、サムターンを外した穴に差し込みます。十字軸部が斜めになっていると正しく入りません。

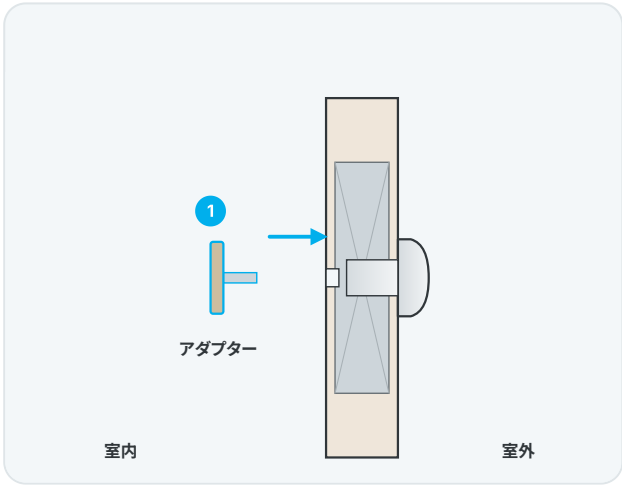


設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN **LA / DA 系**

4.A1 杭を戻してアダプターを固定する

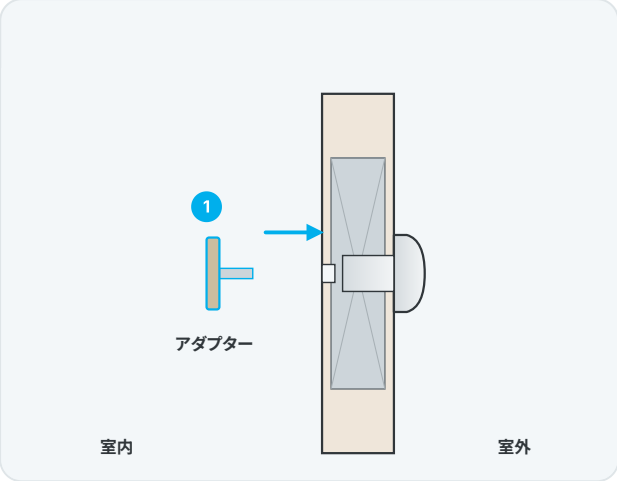
1. 外した2本の杭を、扉の側面から差し込みます。
2. アダプターを引いても外れないことを確認します。
3. 側面のプレートを元どおりにネジで止めます。



B PATTERN **LSP / TE 系**

4.B1 アダプターを差し込む

LSP / TE 系では杭はありません。アダプターは次の章でブラケットと一緒にネジで固定します。

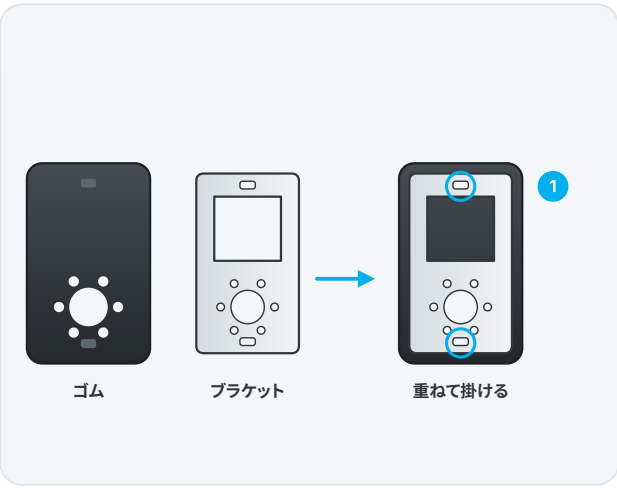


STEP 05

5 ブラケットを扉に固定する

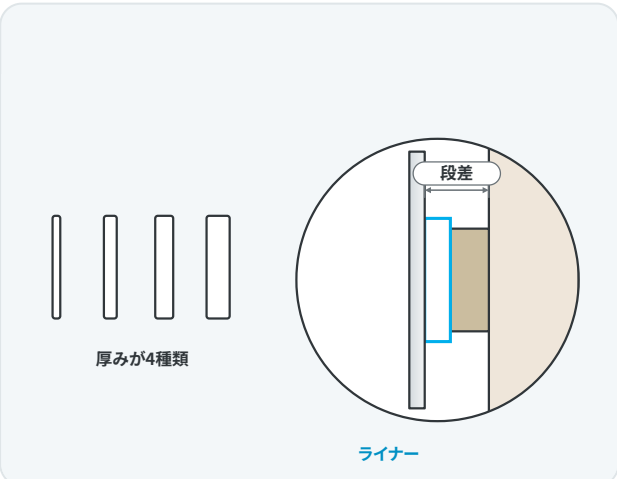
5.1 本体からブラケットとゴムを外して重ねる

1. 本体の裏側から、ブラケット（金属のプレート）とゴムを外します。
2. ゴムの上にブラケットを重ねます。
3. ゴムの突起を、ブラケットの穴に引っ掛けます。



5.2 ライナーを選ぶ

白い部品（ライナー）は4種類あります。扉の面とアダプターの段差の厚みに合わせて、1つ選びます。

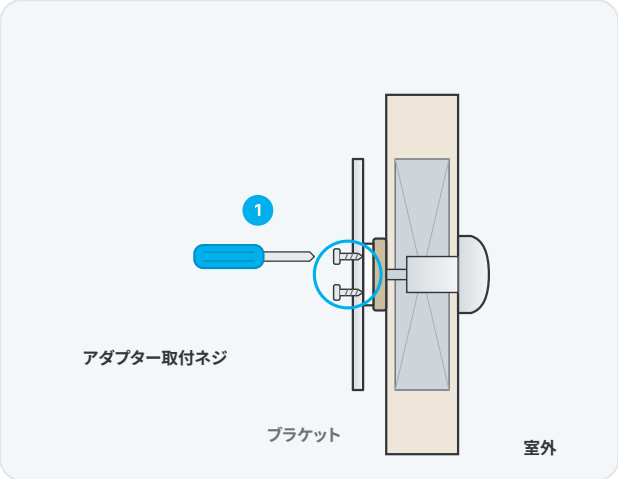


設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN LA / DA 系

5.A1 アダプター取付ネジで止める

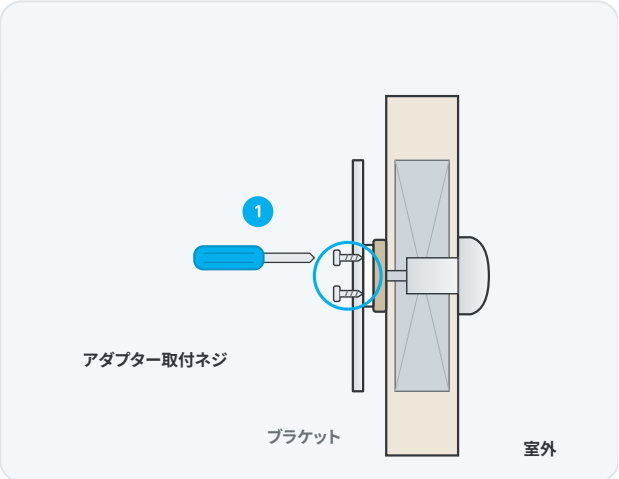
1. ブラケット・ライナー・アダプターの順に重ねます。
2. アダプター取付ネジ（M4×12 または M4×16）で止めます。
3. 2種類のうち、締めて問題がない方を使います。



B PATTERN LSP / TE 系

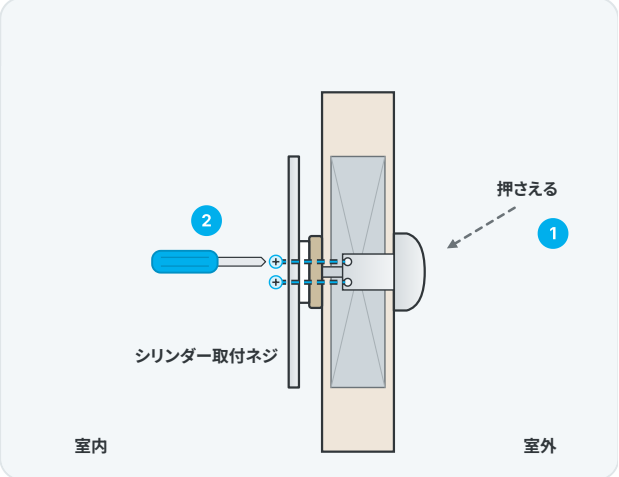
5.B1 アダプター取付ネジで止める

1. ブラケット・ライナー・アダプターの順に重ねます。
2. アダプター取付ネジ（M3×8 または M3×12）で止めます。
3. 2種類のうち、締めて問題がない方を使います。



5.B2 シリンダーを共締めする

1. 室外側のシリンダーを元の位置に当て、手で押さえます。
2. シリンダー取付ネジ（M5×45 または M5×50）の先端を、シリンダー裏の穴に入れます。
3. ネジを締めてシリンダーを固定します。



STEP 06

6 室内機を取り付ける

6.1 電池カバーを外す

本体の電池カバーを、滑り止めの部分を押しながら上へ押し上げて外します。



6.2 本体をブラケットにネジで止める

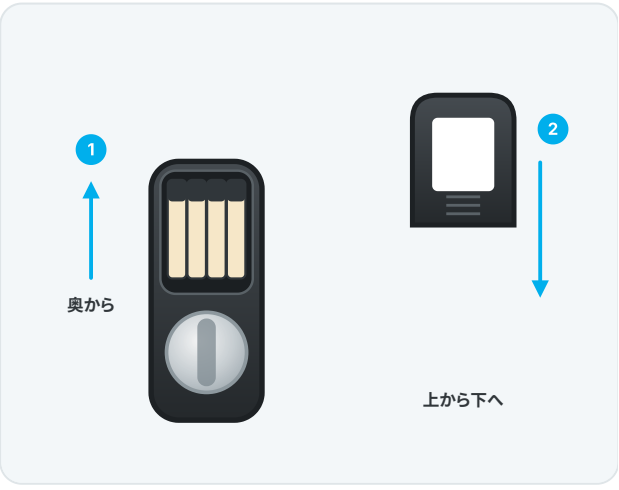
本体をブラケットに当て、④の袋の3本のネジ（上1か所・下の左右2か所）で固定します。



6.3 電池を入れてカバーを付ける

1. 同梱の単三電池4本を、奥から順に入れます。
2. 電池カバーを上から下へスライドして取り付けます。

> **補足** 手前から入れると奥の電池が入りません。



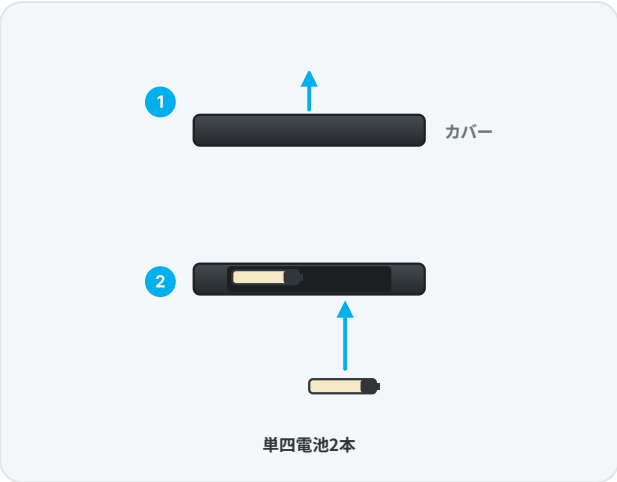
STEP 07

7 オートロックセンサーを取り付ける

7.1 センサーに電池を入れる

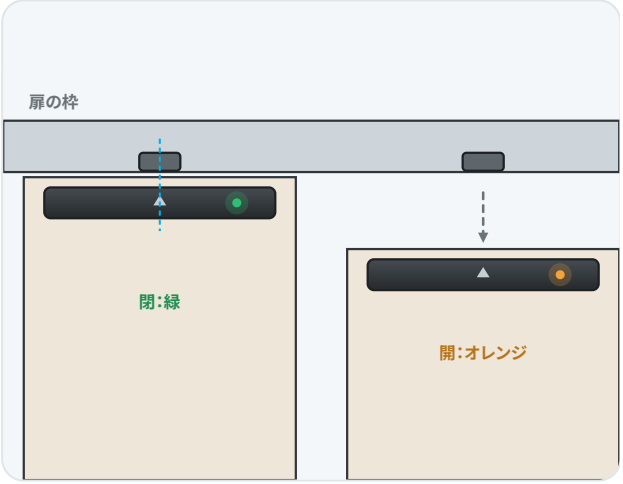
細い棒（センサー本体）のカバーを外し、同梱の単四電池2本を入れてカバーを戻します。

> ⚠ **注意** 無線でつながっている間は、電池を抜いたまま放置しないでください。通信が切れ、ほかの機器の電池の消耗が早まります。



7.2 細い棒と磁石の位置を決める

1. 細い棒と小さい磁石の、どちらかを扉の枠に、もう一方を扉に付けます。
2. 細い棒の▲と磁石の中央をそろえます。
3. 扉を閉めたとき（2つが近づいたとき）に LED が緑になる位置にします。
4. 扉を開けたとき（2つが離れたとき）に LED がオレンジになることを確認します。



STEP 08

8 オートロックを確認する

8.1 扉を閉めて自動で施錠されるか確かめる

1. サムターンを2〜3回まわします（初回はオートロックが効かないため）。
2. 扉を閉めて、自動で施錠されることを確認します。
3. 施錠されない場合は、小さい磁石の向きと位置を調整します。

> ⚠ **注意** サムターンの回る向きが扉勝手と合わない場合は、ご自身で変更せずサポートへご連絡ください。扉勝手の変更はサポートで対応します。



動画で見る

DA 錠タイプへの取り付け	www.youtube.com/watch?v=rqLgBcXTYVc&t=171
TE 錠タイプへの取り付け	www.youtube.com/watch?v=cVW3UZ7eBo4&t=148s
鍵穴に PiACK II を取り付ける	youtu.be/DVNIthNAXDA

CHAPTER 04

04 電気錠・自動ドアに BR1 をつなぐ

施設の制御盤（無電圧 A 接点）に BR1 を配線し、QR1 と Bluetooth でつなぐまでの手順です。電気錠・自動ドア共通。

取り付け　BR1 電気錠モジュール　QR1 LE

目安時間
約30分

用意するもの
- AE(0.9)2C の電線 2本
- 設置に必要な工具

始める前に
- QR1 の取り付けが終わっていること（QR1 LE の取り付け）
- 制御盤の位置と、A 接点の端子を施設側に確認していること

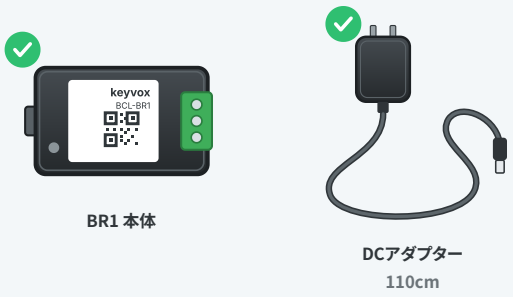
STEP 01

1 同梱物を確かめる

1.1 BR1 本体と DC アダプターがそろっているか確認する

1. BR1 本体（BLE モジュール）があることを確認します。
2. DC アダプター（コード 110cm）があることを確認します。

> **補足** BR1 から QR1 への給電には、QR1 に付属の 3m の USB ケーブルを使います（BR1 には付属しません）。届かない場合は 6m 延長ケーブル（別売）を使えます。



BR1 本体

DCアダプター
110cm

STEP 02

2 接続の全体像

BR1 は天井裏や点検口の中にある制御盤の近くに置き、AE 線で制御盤とつなぎます。QR1 とは Bluetooth で通信します。

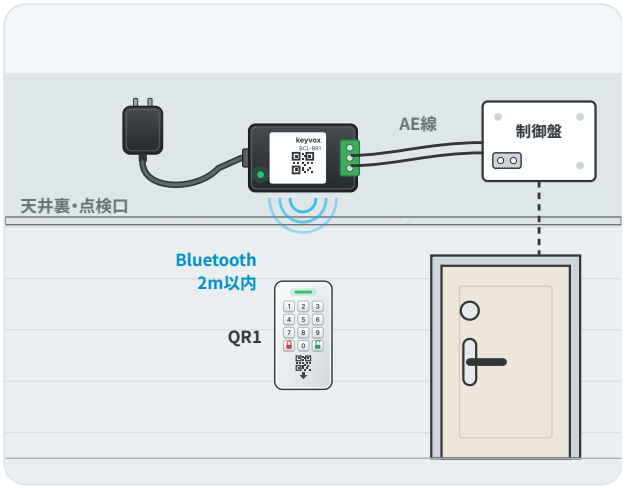
設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN 電気錠

2.A1 制御盤・BR1・QR1 の位置を確認する

1. 天井裏・点検口の中にある制御盤の位置を確認します。
2. BR1 を置く場所を決めます。QR1 から 2m 以内にします。
3. BR1 の電源を取るコンセントの位置を確認します。

> ⚠ **注意** BR1 と QR1 の間に鉄やコンクリートがあると、Bluetooth の通信が妨げられることがあります。

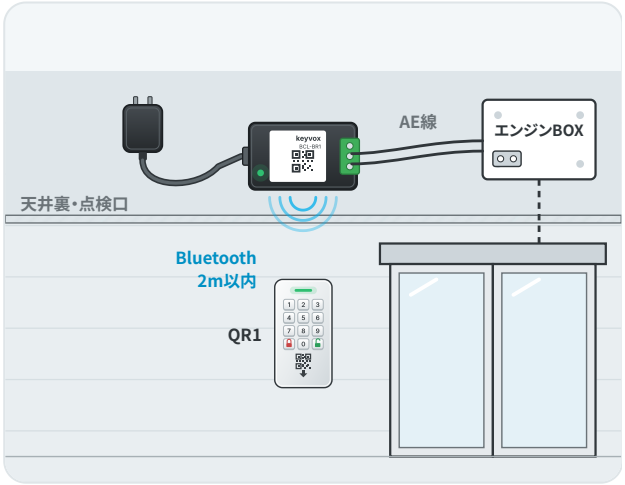


B PATTERN 自動ドア

2.B1 制御盤（エンジンボックス）・BR1・QR1 の位置を確認する

1. 室内の天井近く・点検口の中にあるエンジンボックスの位置を確認します。
2. BR1 を置く場所を決めます。QR1 から 2m 以内にします。
3. BR1 の電源を取るコンセントの位置を確認します。

> ⚠ **注意** BR1 と QR1 の間に鉄やコンクリートがあると、Bluetooth の通信が妨げられることがあります。



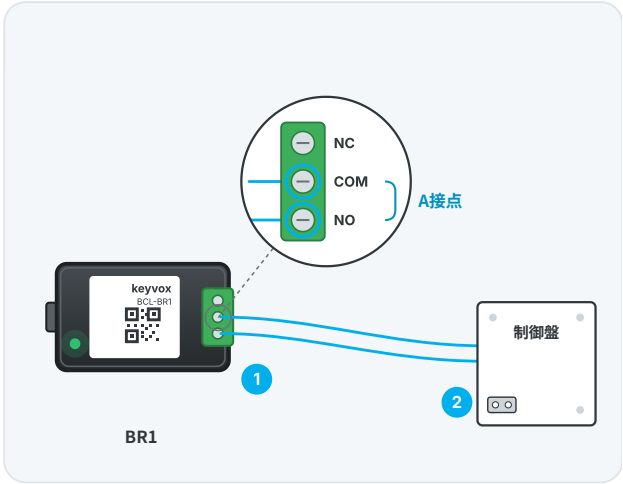
STEP 03

3 制御盤と配線する

3.1 AE 線で BR1 の A 接点と制御盤をつなぐ

1. AE(0.9)2C の電線を 2本用意します。
2. BR1 の緑の端子台の COM と NO（A 接点）に AE 線をつなぎます。
3. 制御盤の無電圧 A 接点に、もう一方の端をつなぎます。

> ⚠ **注意** 端子台は上から NC・COM・NO です。NC（B 接点）にはつなぎません。

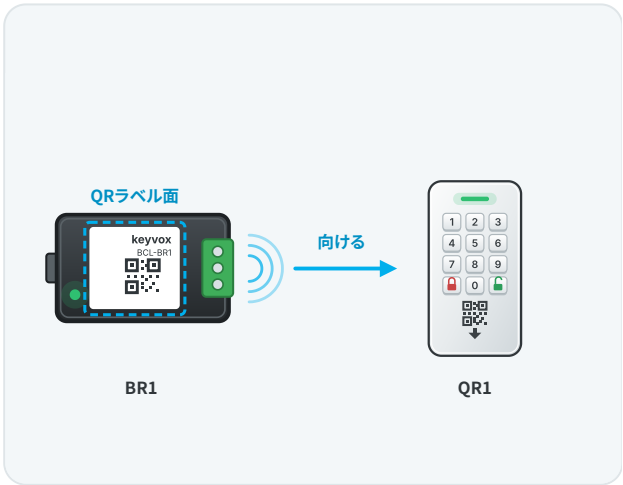


STEP 04

4 BR1 を設置して給電する

4.1 QR コードのラベル面を QR1 に向ける

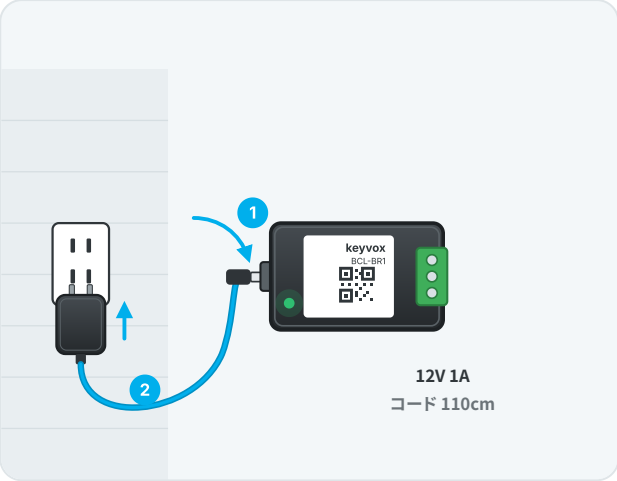
BR1 の電波は QR コードのラベルが貼られた面から出ます。安定して通信できるよう、ラベル面を QR1 の方向に向けて置きます。



4.2 付属の AC アダプターで給電する

1. AC アダプターのプラグを BR1 の電源ジャックに差します。
2. AC アダプターをコンセントに差します。

> ⚠ **注意** BR1 の電源は 12V 1A です。必ず付属の AC アダプターを使ってください。



STEP 05

5 QR1 に給電する

QR1 の電源は BR1 から取るか、コンセントから取るかを選べます。詳しくは**QR1 LE の取り付け**を参照してください。

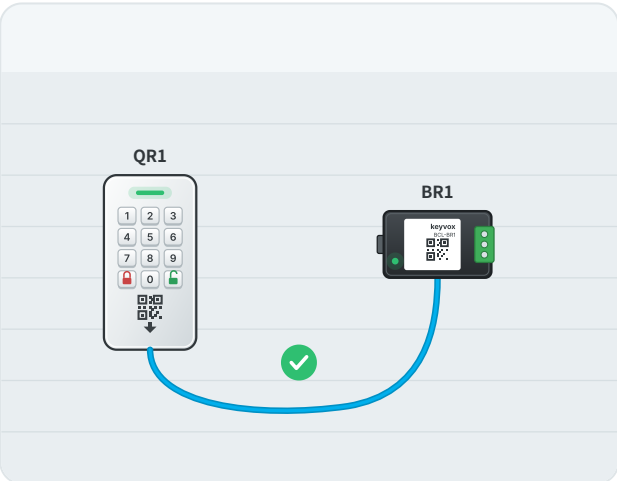
設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN **BR1 経由**

5.A1 USB ケーブルで BR1 と QR1 をつなぐ

QR1 に付属の USB ケーブル（3m、Type-A to C）で BR1 と QR1 をつなぐと、BR1 から QR1 に給電されます。

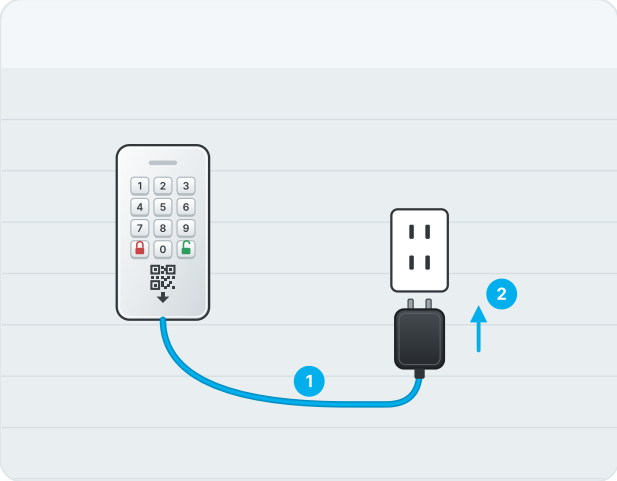
> ℹ **補足** USB ケーブルは給電だけに使います。BR1 と QR1 の通信は Bluetooth で行います。



B PATTERN **コンセントから**

5.B1 付属の AC/DC アダプターでコンセントにつなぐ

1. QR1 の USB ケーブルを AC/DC アダプターにつなぎます。
2. AC/DC アダプターをコンセントに差します。



6 STEP 06 設置後の確認

6.1 BR1 の LED が緑に点灯していること

緑の点灯は QR1 とペアリングされている状態です。緑の点滅は、ペアリングされていないか接続が切れています。

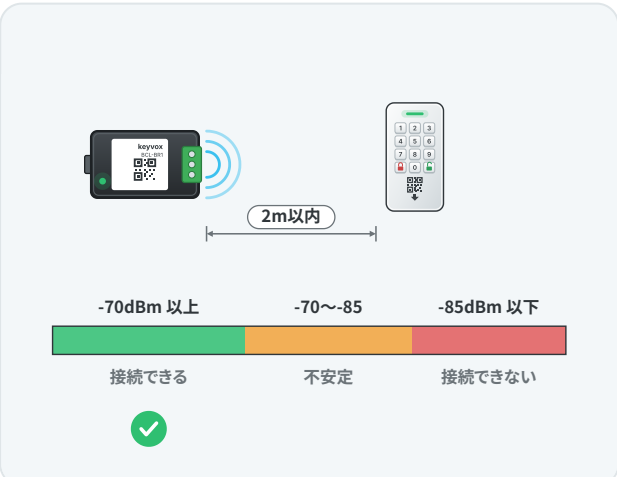
> **補足** 工場出荷のまま届いた場合（プラン B）は、ペアリングが終わるまで LED は緑の点滅のままです。QR1 と PiACK II・BR1・BX1・WD1 をつなぐでペアリングしてから確かめます。



6.2 信号強度が -70dBm 以上あること

Bluetooth・Wi-Fi とも、信号強度は -70dBm 以上を推奨します。-70〜-85dBm は接続が不安定、-85dBm を下回ると接続できません。

> **補足** 信号強度が足りない場合は、BR1 や QR1 の設置場所を見直してください。



6.3 設置環境が仕様の範囲内であること

1. BR1 に防水性能はありません。雨や水がかかる場所に置いていないことを確認します。
2. 周囲の温度が -30〜50°C、湿度が 20〜90%（結露・氷結なし）であることを確認します。
3. 直射日光が当たらないことを確認します。

> **補足** BR1 の仕様: W54 × L81.9 × D34mm、75g。電源 12V 1A（電源ジャック入力）。USB-A 端子から QR1 へ 5V 1A を給電可能。A 接点（NO）・B 接点（NC）・COM 端子 各1。

CHAPTER 05

05 電気錠・自動ドアに WD1 をつなぐ

有線 LAN 接続モジュール WD1 を施設の制御盤（無電圧 A 接点）とネットワークにつなぎ、QR1 LE と USB Type-C でつなぐまでの手順です。電気錠・自動ドア共通。

取り付け　WD1 有線LANモジュール　QR1 LE

目安時間
約30分

用意するもの
- LAN ケーブル（カテゴリー5e 以上）
- AE(0.9)2C の電線 2本
- 設置に必要な工具

始める前に
- QR1 LE の取り付けが終わっていること（**QR1 LE の取り付け**）
- 給電方法（AC アダプター／PoE）を決めていること

STEP 01

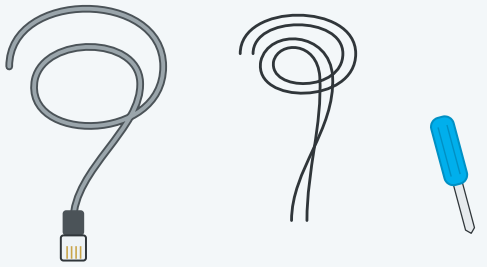
1 用意するもの

次のものはお客様に用意していただきます。

1.1 LAN ケーブル・AE 線・工具をそろえる

1. LAN ケーブルを用意します。カテゴリー5e 以上を選びます。
2. AE(0.9)2C の電線を 2本用意します。
3. 設置に必要な工具を用意します。

> **補足** PoE で給電する場合は、PoE 機器の規格に対応した LAN ケーブルを使います。細い LAN ケーブルは PoE には向きません。



LAN Cat5e以上　AE(0.9)2C ×2　工具

STEP 02

2 接続の全体像

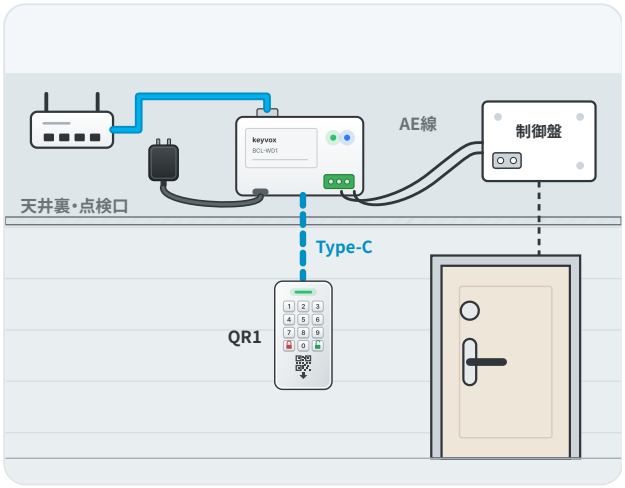
WD1 は天井裏や点検口の中にある制御盤の近くに置きます。必ず事前に、すべての配線ルートを確認してください。

設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN AC アダプター給電

2.A1 制御盤・ルーター・コンセントの位置を確認する

1. 制御盤（自動ドアはエンジンボックス）の位置を確認します。
2. LAN ケーブルを引くルーターの位置を確認します。
3. WD1 の電源を取るコンセントの位置を確認します。
4. WD1 から QR1 LE までの Type-C ケーブル（3m）のルートを確認します。

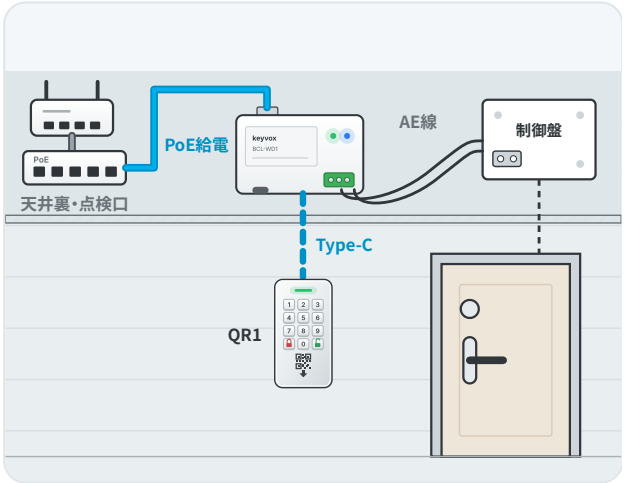


B PATTERN PoE 給電

2.B1 制御盤・PoE 機器の位置を確認する

1. 制御盤（自動ドアはエンジンボックス）の位置を確認します。
2. LAN ケーブルを引く PoE 機器（PoE ハブ・PoE 無線アクセスポイント）の位置を確認します。
3. WD1 から QR1 LE までの Type-C ケーブル（3m）のルートを確認します。

> **補足** PoE 機器はお客様に用意していただきます。監視カメラなどで PoE 環境を構築済みの施設におすすめです。この方法では付属の AC アダプターは使いません。



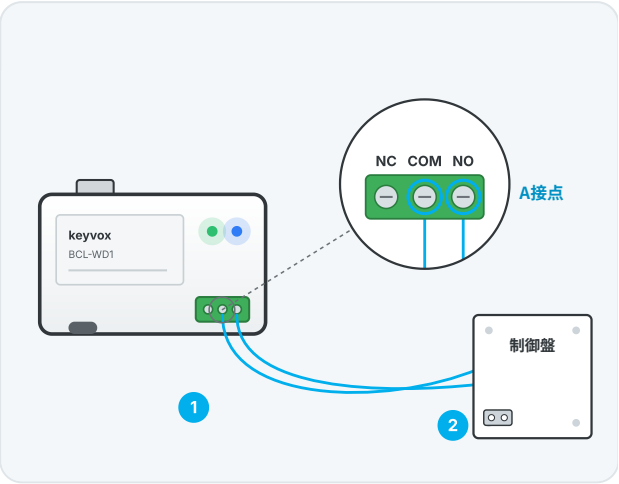
STEP 03

3 制御盤と配線する

3.1 AE 線で WD1 の A 接点と制御盤をつなぐ

1. WD1 の緑の端子台の COM と NO（A 接点）に AE 線をつなぎます。
2. 制御盤の無電圧 A 接点に、もう一方の端をつなぎます。

> ⚠ **注意** 端子台は左から NC・COM・NO です。NC（B 接点）にはつなぎません。



STEP 04

4 LAN と電源をつなぐ

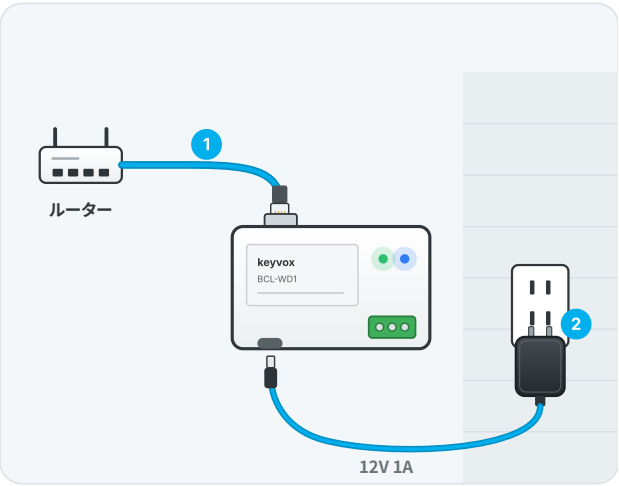
設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN **AC アダプター給電**

4.A1 ルーターにつなぎ、AC アダプターで電源を入れる

1. WD1 に LAN ケーブルを差し、ルーターにつなぎます。
2. 付属の AC アダプター（コード 1.5m）を WD1 に差します。
3. AC アダプターをコンセントに差して電源を入れます。

> ⚠ **注意** WD1 の電源は 12V 1A です。必ず付属の AC アダプターを使ってください。

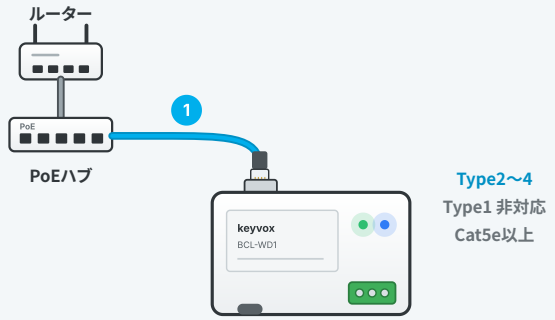


B PATTERN **PoE 給電**

4.B1 PoE 機器につなぐ

1. WD1 に LAN ケーブルを差します。
2. もう一方を PoE ハブや PoE 無線アクセスポイントにつなぎます。電源も LAN ケーブルから取られます。

> ⚠ **注意** WD1 は PoE の Type2〜4 に対応しています。Type1 には対応していません。すべての規格に対応するには、カテゴリー5e 以上の LAN ケーブルを使ってください。

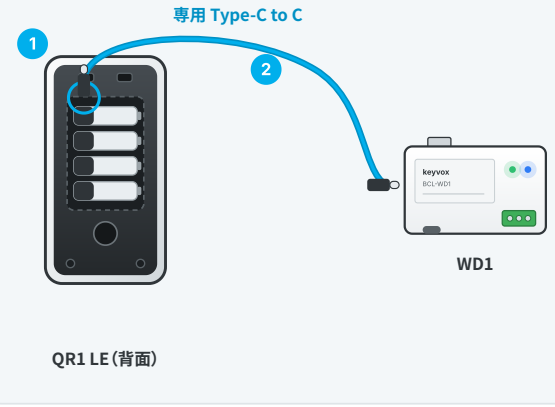


5 STEP 05 QR1 LE とつなぐ

5.1 専用の Type-C to C ケーブルで QR1 LE と WD1 をつなぐ

1. QR1 LE の背面を開け、USB Type-C の差し込み口を出します。
2. 付属の Type-C to C ケーブルを QR1 LE に差します。
3. もう一方を WD1 に差します。

> ⚠ **注意** Type-C to C ケーブルは専用品です。市販のケーブルでは使えません。



STEP 06

6 設置後の確認

6.1 LED が 2つとも点灯していること

緑の LED（通電）と青の LED（ネットワーク）が両方点灯していれば正常です。緑の点灯は通電していて接点開錠機器として使われている状態、点滅は通電しているが接点開錠機器として使われていない状態です。青の点灯はインターネット接続済み、点滅はインターネットに接続できていない状態です。

> **補足** 点灯しない場合は、各ケーブルの接続と、LAN ケーブルを差しているルーターの状態を確認してください。



6.2 設置環境が仕様の範囲内であること

1. WD1 に防水性能はありません。雨や水がかかる場所に置いていないことを確認します。
2. 周囲の温度が -20〜50°C、湿度が 20〜90%（結露・氷結なし）であることを確認します。
3. 直射日光が当たらないことを確認します。

> **補足** WD1 の仕様: W145 × L90 × H40mm、160g。電源 12V 1A（電源ジャック入力）または PoE（48V 0.5A）。A 接点（NO）・B 接点（NC）・COM 端子 各1（リレー定格 100V / 1500W）。

CHAPTER 06

06 設置後の動作確認

取り付けと接続が終わったら、接続先ごとの状態を確かめ、管理者暗証番号で実際に解錠できるかを確認します。

取り付け | QR1 LE | PiACK II Smart | BR1 電気錠モジュール | WD1 有線LANモジュール

目安時間
約5分

始める前に
- QR1 と接続先の機器がペアリングされていること（KEYVOX で設定済みで届いた場合は済んでいます。工場出荷のまま届いた場合（プラン B）は**QR1 と PiACK II・BR1・BX1・WD1 をつなぐ**を済ませておきます）
- ご自身で変更した12桁の管理者暗証番号（**QR1 をアカウントに登録する（管理者暗証番号の設定）**で変更したもの）

STEP 01

1 接続先の状態を確かめる

設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN **BR1（電気錠・自動ドア）**

1.A1 BR1 の LED が緑に点灯していること

緑の点灯は QR1 とペアリングされている状態です。緑の点滅は、ペアリングされていないか接続が切れています。

> **補足** QR1 と BR1 は 2m 以内に置き、Bluetooth・Wi-Fi の信号強度は -70dBm 以上を目安にします。QR1 は現地の 2.4GHz の Wi-Fi につなぎます。

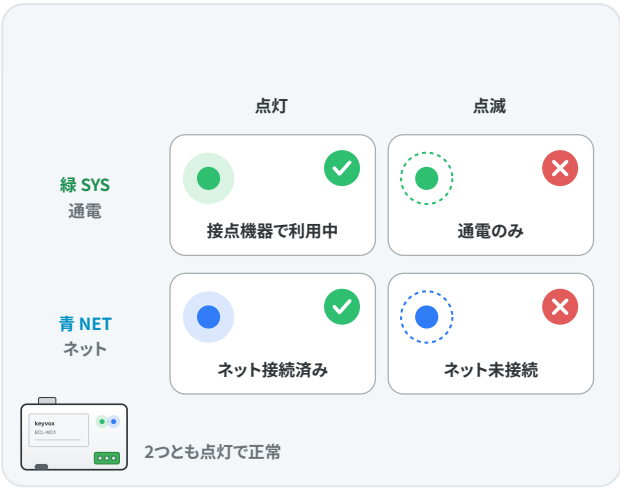


B PATTERN WD1（電気錠・自動ドア・有線LAN）

1.B1 WD1 の緑 SYS と青 NET の LED が点灯していること

緑の SYS（通電）と青の NET（ネットワーク）が両方点灯していれば正常です。緑の点滅は接点開錠機器として使われていない状態、青の点滅はインターネットにつながっていない状態です。

> **補足** WD1 と QR1 LE は専用の USB Type-C ケーブルでつながっていること、WD1 に LAN ケーブルが差さっていることを確かめます。



C PATTERN PiACK II（本締錠）

1.C1 QR1 と PiACK II の距離を確かめる

QR1 と PiACK II Smart は Bluetooth で通信します。2m 以内に設置してください。

> **注意** Bluetooth は鉄やコンクリートで遮られます。扉や壁の材質によっては、距離を縮めるなど設置位置を調整してください。

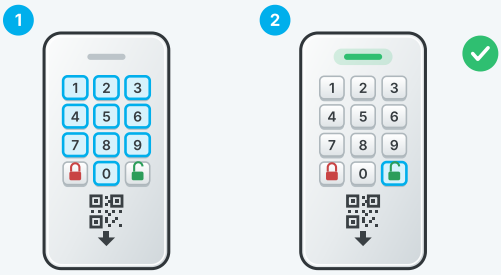


STEP 02
2 解錠テスト

2.1 管理者暗証番号で解錠する

1. ご自身で変更した12桁の管理者暗証番号を押します。
2. 右下の鍵マークを押します。
3. LED が緑に光り、解錠されれば完了です。

> **補足** 解錠されない場合は、接続先の状態（上の章）を確かめてから、もう一度試してください。



2.2 セサミをつないだ場合

セサミの状態の確かめ方（本体の操作・アプリのカギでの解錠）は、QR1 LE とセサミをつなぐの「動作を確かめる」で確認します。

STEP 03
3 取り付け確認を依頼する

3.1 サポートポータルから取り付け確認を依頼する

設置後、サポートに取り付け確認を依頼します。

1. 解錠テストまで終わったことを確かめます。
2. サポートポータル（support.keyvox.co）を開きます。
3. 取り付け確認の依頼を送ります。

CHAPTER 07

07 BX1 キーボックスの設置

キーボックス BX1 の同梱品と設置場所の条件を確かめ、電池を入れ、ドアノブに掛けるか壁にネジで固定して、付属のゴム部材で穴と隙間を塞ぐまでの手順です。電池が切れたときの開け方も載せています。単体でも、QR1 LE とつないでも使えます（つなぐ場合は「QR1 と PiACK II・BR1・BX1・WD1 をつなぐ」）。

取り付け　BX1 キーボックス

目安時間
約15分

用意するもの
- プラスドライバー
- 単三アルカリ電池 2 本（別売り）
- 壁に固定する場合はネジ（別途用意）

STEP 01

1 同梱品と設置場所を確かめる

1.1 同梱品を確かめる

1. 本体と、ロックシャックル（吊り下げフック）がそろっていることを確かめます。
2. シャックルを使わないときに上部の穴を塞ぐプラグ 2 個と、背面の穴用のプラグ 4 個があることを確かめます。
3. 背面用のゴムワッシャーと、蓋のクッション用のゴムがあることを確かめます。
4. オンラインマニュアル兼保証書は、保証を受けるときに必要なので保管しておきます。



⚠ **注意** 電池・壁に固定するネジ・USB ケーブルは同梱されていません。別途ご用意ください。

1.2 本体の大きさを確かめる

1. 外寸は高さ 141 × 幅 74 × 奥行き 55mm、重さは 550g です。
2. 中に入れられる大きさ（内寸）は高さ 109 × 幅 66 × 奥行き 25mm です。
3. 電源は単三電池 2 本で、電池のもちは約 10 か月です。

1.3 設置場所の条件を確かめる

1. 温度 -20〜50°C、湿度 20〜90% の場所に設置します。
2. 直射日光が当たる場所、結露・氷結する場所は避けます。
3. 防水は IPX5 相当ですが、蓋を閉めて施錠しているときだけです。

> ⚠ **注意** 開けている間に蓋の側が濡れると、蓋の中の基板が腐食して故障の原因になります（保証の対象外です）。雨のかかる場所では、濡れない状態で開け閉めしてください。

STEP 02

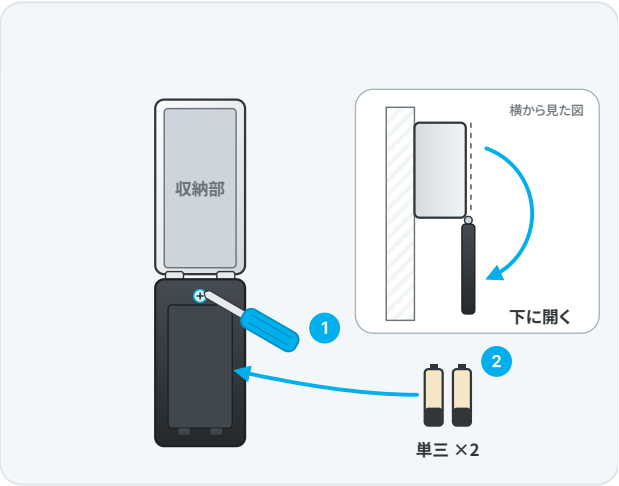
2 電池を入れる

電池は蓋の内側に入れます。蓋は下側の蝶番で、手前・下に開きます。

2.1 蓋を開けて単三電池を入れる

1. 蓋を手前・下に開けます。
2. 蓋の内側にある電池カバーのネジ 1 本を、プラスドライバーで外します。
3. 電池カバーを外し、新品の単三アルカリ電池 2 本を向きに注意して入れます。
4. 電池カバーを付けて、ネジを締めます。

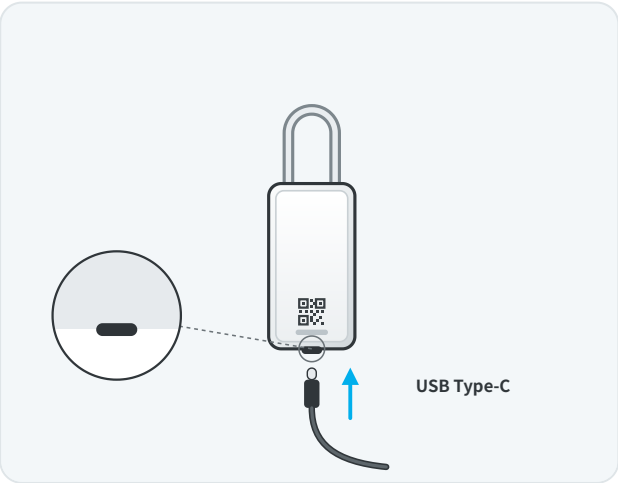
> ⚠ **注意** 電池カバーを付けずに蓋を閉めると、中で電池が外れて開けられなくなることがあります。マンガン電池・充電池は使わず、アルカリ乾電池を使います（それ以外は保証の対象外です）。



2.2 届いたときに蓋が開かない場合

施錠された状態で届いている可能性があります。本体下部の給電口に USB Type-C のケーブルをつないで給電し、アプリでペアリングしてから、アプリで解錠して蓋を開けます。

> ℹ **補足** 電池を入れたら、アプリ（KEYVOX Basic）でペアリングします。手順は**BX1 をアプリで使う**をご覧ください。



STEP 03

3 設置方法を選ぶ

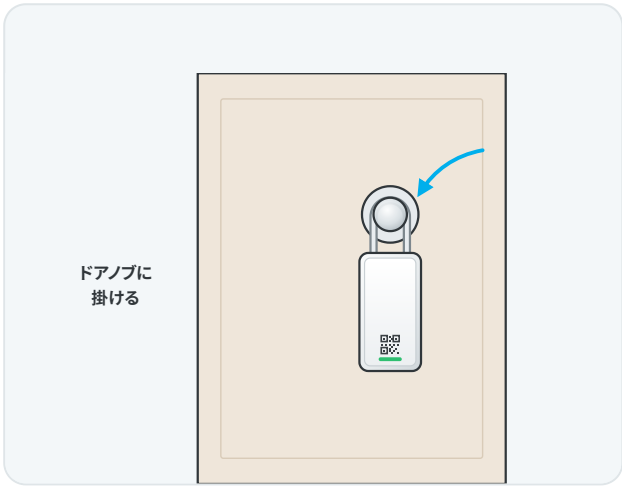
BX1 はドアノブなどに引っ掛けるか、壁などにネジで固定します。

設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN ドアノブに掛ける

3.A1 シャックルをドアノブに掛ける

1. シャックル（吊り下げフック）を本体上部の穴に差し込みます（差し込むだけで固定できます）。
2. シャックルをドアノブの根元に掛けます。
3. 本体がぶら下がり、落ちないことを確かめます。

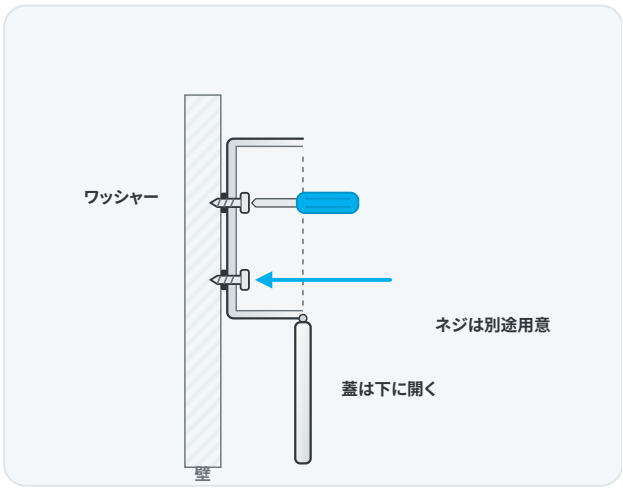


B PATTERN 壁にネジ止め

3.B1 背面の穴で壁にネジ止めする

1. 蓋を手前・下に開け、本体の内側から背面のネジ穴にネジを通します。
2. 背面と壁の間に、付属のゴムワッシャーをはさみます。
3. ネジを締めて、本体を壁に固定します。

> ⚠ **注意** ネジは同梱されていません。壁の材質に合うネジを別途ご用意ください。



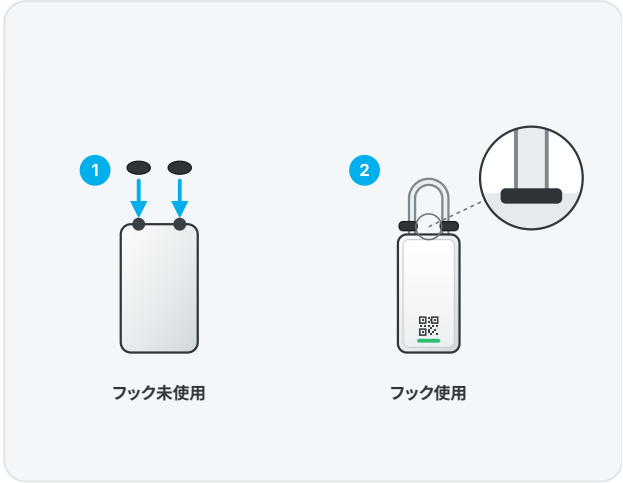
STEP 04

4 付属の部材で穴と隙間を塞ぐ

設置方法に合わせて、付属のゴム部材を使い分けます。

4.1 上部の穴を塞ぐ

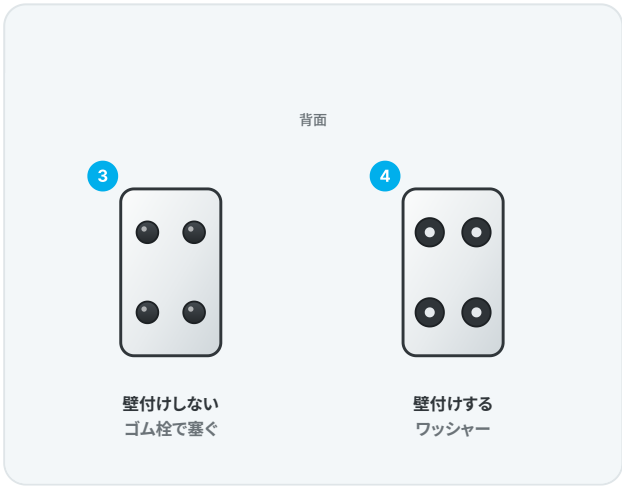
1. シャックルを使わない場合は、上部の 2 つの穴を大きいプラグで塞ぎます。
2. シャックルを使う場合は、シャックルと穴の隙間をプラグで塞ぎます。



4.2 背面の穴を塞ぐ

1. 壁に付けない場合は、背面の 4 つの穴を小さいプラグで塞ぎます。
2. 壁に付ける場合は、背面の穴にドーナツ型のゴムワッシャーを付け、設置面とのクッション材にします。

> **補足** 寒暖差の激しい場所に置く場合は、通気のため背面のプラグを 1 つ開けておくことをおすすめします。プラグを付けても、中に入れた鍵は濡れる可能性があります。



4.3 蓋のクッション材を貼る

付属の幅 2cm ほどのゴム（クッション材）を、蓋の下部に貼ります。蓋を全開にしたときに、蓋と壁が直接当たらないようにするためのものです。

STEP 05

5 電池が少なくなったとき・切れたとき

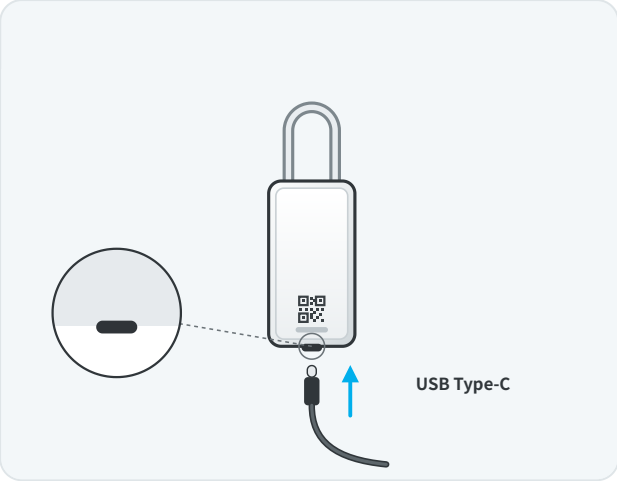
5.1 電池が少なくなったら交換する

電池が少なくなると、解錠したあとに赤い LED が 3 回点滅します。点滅したら、早めに新品の単三アルカリ電池 2 本に交換してください。残量はアプリでも確かめられます。

5.2 電池が切れたら USB Type-C から給電して解錠する

電池が切れて開けられないときは、本体下部の USB 給電口（Type-C）に USB ケーブル（別売り）をつないで給電し、アプリで解錠してください。開いたら電池を交換します。

> ⚠ **注意** USB 給電は緊急時の解錠用です。USB 給電のまま使い続けないでください（保証の対象外になります）。



STEP 06

6 保証とサポート

6.1 保証は購入から 1 年です

不具合が起きたときは、サポートポータル（support.keyvox.co）からチケットを起票してください。症状が分かる動画か写真と、購入日が分かるものを添えると早く確認できます。

> ⚠ **注意** アルカリ以外の電池や USB 給電で使い続けた場合、蓋を開けたまま濡れた場合、改造した場合などは保証の対象外です。

CHAPTER 08

08 スマートロッカーの初期設定

スマートロッカーの電源と LAN（または Wi-Fi）をつなぎ、操作パネルの日時・KEYVOX Locker アプリを設定して、解錠テストを行うまでの手順です。

取り付け　スマートロッカー

目安時間

約40分

始める前に

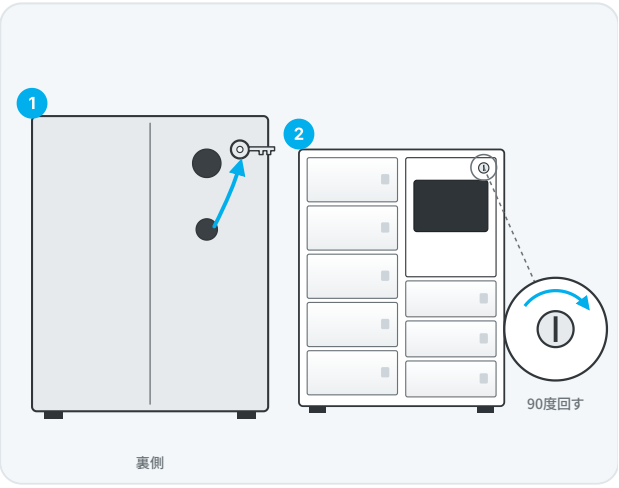
- 管理者パスワードの初期値・接続先サーバー・解錠テスト用アプリのログインコード（納品時のご案内に記載）
- 発注時に確認した解錠方法
- LAN ケーブル（有線で接続する場合）

STEP 01

1 機器の設定

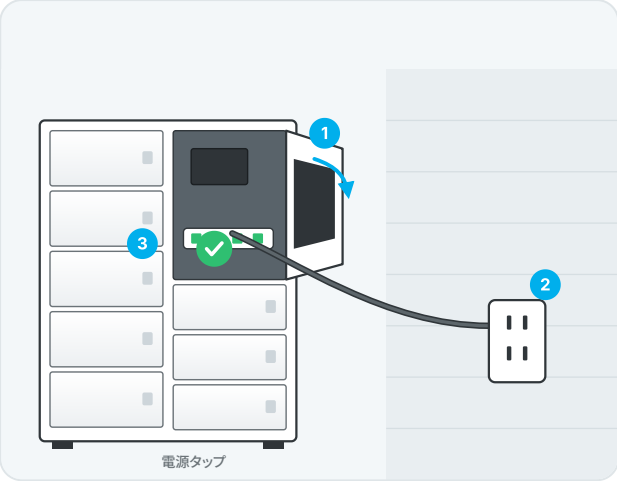
1.1 ロッカーの鍵を取り出す

1. ロッカーの裏側（パネルの裏の部分）にある穴から、ロッカーの鍵を取り出します。
2. パネルの鍵穴に鍵を差し、90 度回して開けます。



1.2 パネルを開けて電源コードをつなぐ

1. ロッカーのパネル部分を開けます。
2. 白い電源コードを裏の穴から出し、コンセントに挿します。
3. ロッカー内の電源タップのスイッチが、すべて入っていることを確かめます。



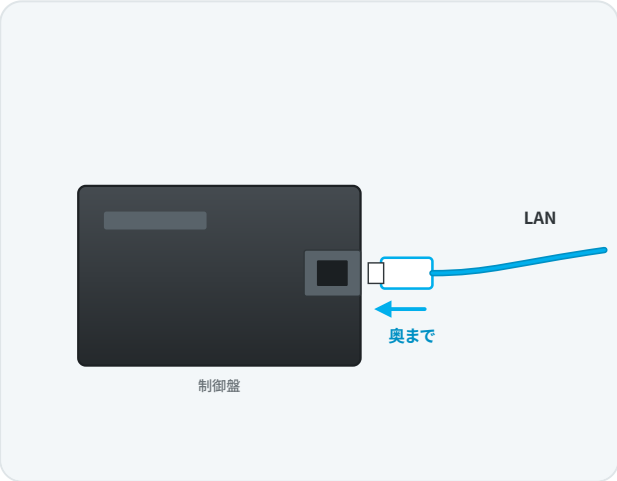
設置する環境に合うものを 1 つ選んで進めます。

A PATTERN 有線 LAN

1.A1 LAN ケーブルを制御盤に挿す

1. LAN ケーブルを裏の穴から入れます。
2. 制御盤の LAN 差込口に、LAN ケーブルを最後まで差し込みます。

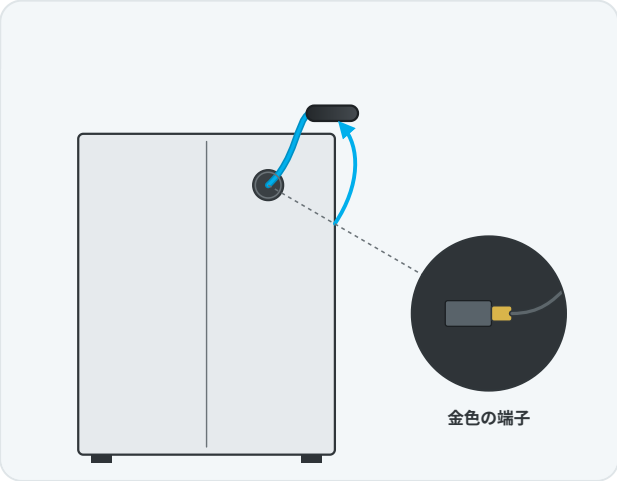
> ⚠ **注意** 差し込みが緩いとインターネットにつながらず、ロッカーを操作できません。



B PATTERN Wi-Fi

1.B1 アンテナをつないで上部に置く

1. Wi-Fi を受信するアンテナの先（金色の端子）を制御盤につなぎます。
2. アンテナを裏の穴から出します。
3. 電波を受けやすいよう、アンテナをロッカーの上部などに設置します。

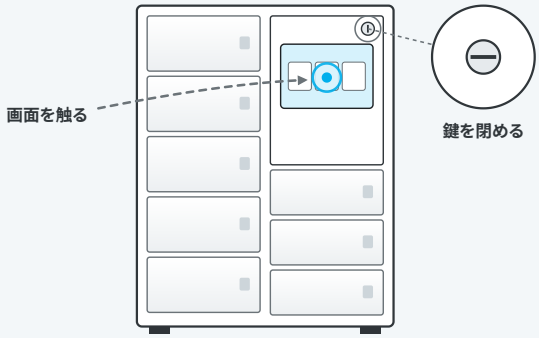


STEP 02

2 パネルを閉めて起動する

2.1 パネルを閉めて画面を触る

1. ロッカーのパネル部分を閉めます。
2. パネルの鍵穴に鍵を差し、90 度回して鍵を閉めます。
3. パネルの画面を触り、立ち上げます。



STEP 03

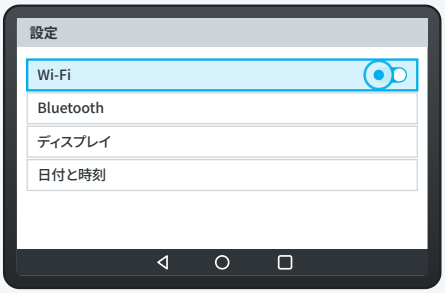
3 パネル（Android）の初期設定

画面下部中央の「◯」を押してから画面を下から上にスライドすると、アプリの一覧（メニュー画面）が表示されます。

3.1 Wi-Fi を ON にする

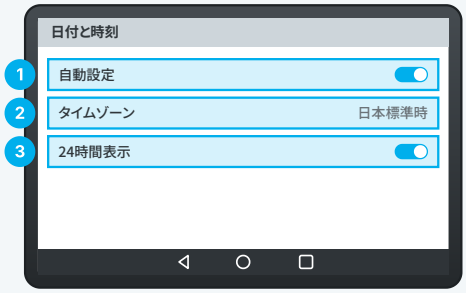
1. メニュー画面から「設定」を開きます。
2. 「Wi-Fi」を押し、「ON」にします。

> ⚠ **注意** 有線 LAN で接続する場合も、Wi-Fi は必ず「ON」にしてください。OFF のままだと再起動後に MAC アドレスが認識されず、サーバーに接続できなくなります。



3.2 日付と時刻を設定する

1. 画面下部の「◁」で戻り、下にスクロールして「日付と時刻」を開きます。
2. 「日付と時刻の自動設定」を「ON」にします。
3. 「タイムゾーンの選択」が「日本標準時」になっていることを確かめます。
4. 「24時間表示」を「ON」にします。



STEP 04

4 KEYVOX Locker アプリの設定

4.1 管理メニューを開く

1. メニュー画面から「KEYVOX Locker」を開きます。
2. 「暗証番号」を押し、画面の右下を 10 回タップします。
3. 「管理者パスワード」を押し、キーボード左下の「?123」で数字入力に切り替えて、管理者パスワードを入力します。

> **補足** 管理者パスワードの初期値は、納品時のご案内をご確認ください。初期値のまま運用せず、適宜変更してください。



4.2 接続先サーバーを選ぶ

1. 管理メニューの「環境設定」を開きます。
2. 納品時のご案内に記載された接続先サーバーを選びます。



4.3 アプリを最新版にする

1. 「◁」で管理メニューに戻ります。
2. 「アプリの更新を確認」を押します。
3. 最新バージョンでない場合は、最新版に更新します。

4.4 解錠方法を設定する

1. 「解錠方法の設定」を押します。
2. 使う解錠方法にチェックを入れ、それ以外のチェックを外します。

> **補足** 発注時に確認した解錠方法を選んでください。

4.5 返却ボタンを設定する

1. 「戻る」を押し、「返却ボタンの設定」を開きます。
2. BOX 解錠時に表示するボタンの名称（「利用中（継続利用）」「返却する」）を必要に応じて変更します。
3. 解錠したら返却扱いにする場合は、「返却ボタンを表示しない」にチェックを入れます。
4. 「保存する」を押します。



STEP 05

5 解錠テスト

5.1 制御アプリで BOX を開ける

1. メニュー画面から制御アプリ「JubuBoxesCtrl」を開き、ログインコードを入力して「登陆」を押します。
2. 「副机地址」に、メインのロッカーなら 0、サブのロッカーなら 1 から順の番号を入力します。
3. 「格口起始地址」に、テストする最初の BOX 番号から 1 を引いた数を入力します。
4. 「格口结束地址」に、テストする最後の BOX 番号から 1 を引いた数を入力します。
5. 「开箱」を押し、指定した BOX が自動で解錠されることを確かめます。



例: BOX 1〜5 をテスト

> **補足** 制御アプリは中国語表示です。ログインコードは納品時のご案内をご確認ください。

STEP 06

6 運用開始前の設定

利用者がロッカーアプリ以外を操作できないようにしてから運用を始めます。

6.1 開いているアプリを消す

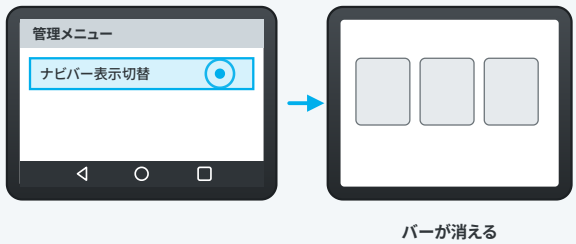
1. 画面下部の「□」を押します。
2. 下から上にスライドし、「すべて消去」を押すか、各アプリを左にスライドして消します。

6.2 常時表示するアプリを起動する

メニュー画面から「EmptyApp」を開きます。ロッカーアプリ（解錠操作画面）を常時表示させるためのアプリです。

6.3 ナビゲーションバーを隠す

1. 「暗証番号」を押して右下を 10 回タップし、管理者パスワードを入力します。
2. 「Androidナビゲーションバーの表示切替」を押します。画面下部の黒いバーが消えます。
3. 「戻る」を押して、運用開始画面まで戻ったら完了です。



STEP 07

7 MAC アドレスを確認する

ネットワークの登録などで MAC アドレスが必要なときに確認します。

7.1 管理メニューから表示する

1. 「暗証番号」を押して右下を 10 回タップし、管理者パスワードを入力します。
2. 「MACアドレス表示」を押し、表示された MAC アドレスを確認します。



APPENDIX — SPECIFICATIONS

製品仕様

・極端な高温多湿の場所や海岸沿いなど、特殊な環境でのご利用を想定される場合は、あらかじめ当社にご相談ください。
・接点信号の出力時間は初期設定で 2 秒、2〜20 秒の間で変更できます。電気錠・自動ドアのメーカーまたは施工店と相談のうえ、万が一解錠できなかった場合の解錠方法（非常用の解錠ボタンなど）をあらかじめご用意ください。
・仕様は改良のため予告なく変わることがあります。

BCL-QR1 LE

KEYVOX QRリーダー・キーパッド

寸法	W73.9 × L134.5 × D57.1 mm
製品重量	325g
材質	ボディ：プラスチック／ブラケット：鉄
耐熱・耐湿度性能	-20°C〜50°C（直射日光を受けないこと）／湿度20%〜90%（結露・氷結のないこと）
防水性能	JIS C0920 保護等級5
電気定格	5V 1A（100V 用の AC/DC アダプター付属）／単三電池4本（別売り）
電源コード	USB Type-A to C ケーブル 3m 付属
付属品	AC/DC アダプター、USB Type-C ケーブル（3m）、ブラケット、保証書、QRリーダー場所表示用シール、ブラケット固定用木ネジ（コンセントボックス・はさみ金具用のネジは同梱されません）

BCL-BR1

KEYVOX BLEモジュール

寸法	W54 × L81.9 × D34 mm
製品重量	75g
材質	プラスチック（黒）
耐熱・耐湿度性能	-20°C〜50°C（直射日光を受けないこと）／湿度20%〜90%（結露・氷結のないこと）
防水性能	なし
電気定格	電源：12V 1A（電源ジャック入力）／USB-A 端子×1：QR1 へ 5V 1A の給電が可能／A接点（NO）端子・B接点（NC）端子・COM 端子：各1個（リレーの定格：220V / 1000W）
電源コード	専用の電源コード付きアダプター（コードの長さ 110cm）
付属品	AC/DC アダプター、保証書

BCL-WD1

KEYVOX 有線LAN接続モジュール

寸法	W145 × L90 × H40 mm
製品重量	160g
材質	プラスチック（白）
耐熱・耐湿度性能	-20°C〜50°C（直射日光を受けないこと）／湿度20%〜90%（結露・氷結のないこと）
防水性能	なし
電気定格	電源：12V 1A（電源ジャック入力）または PoE 給電（48V 0.5A）／QR1 LE へ 5.8V 1A の給電／A接点（NO）端子・B接点（NC）端子・COM 端子：各1個（リレーの定格：100V / 1500W）
ネットワーク	有線LAN（LAN ケーブルは別売り）
電源コード	専用の電源コード付きアダプター
付属品	AC/DC アダプター、保証書

BCL-BX1

KEYVOX ロックボックス

寸法	外寸：W74 × L141 × D55 mm／内寸：W66 × H109 × D25 mm
製品重量	550g
材質	アルミニウム合金・鉄・ステンレス
耐熱・耐湿度性能	-30°C〜50°C（直射日光を受けないこと）／湿度20%〜90%（結露・氷結のないこと）
防水性能	JIS C0920 保護等級5（扉を閉じた状態に限る）
電気定格	単三電池2本（別売り）で約10か月稼働／USB Type-C 5V 1A での給電も可能
電源コード	付属しません
付属品	保証書、防水用プラグ

APPENDIX — FAQ

よくある質問

導入の前に

Q QR1 LE とつなげられる機器を教えてください。

QR1 LE は扉の入口になる機器で、扉の種類に合わせて次の機器とつないで使います。

- BR1（電気錠モジュール）：Bluetooth でつなぎ、電気錠・自動ドアを制御します。
- WD1（有線LANモジュール）：専用の USB Type-C ケーブルでつなぎ、電気錠・自動ドアの制御と有線LANでの通信を行います。
- PiACK II Smart：美和ロック製のサムターンユニットです。Bluetooth でつなぎます。
- BX1（ロックボックス）：物理鍵を収めるキーボックスです。QR1 LE 1 台で複数の BX1 を操作できます。
- セサミ：CANDY HOUSE 製のスマートロックです。Bluetooth でつなぎます。

参照：設置前の確認／QR1 と PiACK II・BR1・BX1・WD1 をつなぐ／QR1 LE とセサミをつなぐ

Q QR1 LE は乾電池で何か月使えますか？

1 日 10 回ほどの開閉、6 時間に 1 回の同期という設定で、単三電池 4 本で最長 6 か月が目安です。電池で使う場合はインターネットに常時接続しないため、管理画面からの遠隔解錠と、リアルタイムの履歴の取得は使えません（AC アダプターで給電し、常時接続にした場合に使えます）。

参照：インターネットにつなぐ（Wi-Fi・同期の設定）／日常の保守（ファームウェア・電池・本体コマンド）

Q オンライン QR コードとオフライン QR コードは何が違いますか？

オンラインはクラウドから QR1 に配信するカギ、オフラインは QR1 と通信せずに計算で作るカギです。どちらも解錠の瞬間にインターネットは要りません。利用回数（1 回限りなど）では制限できず、利用できる時間で制御します。オフラインは QR1 の時計が合っている必要があり、発行後に取り消せないため、ご利用の直前にお渡しするなどの工夫をしてください。

	オンライン QR コード	オフライン QR コード
しくみ	クラウドから本体へ配信	計算で生成（本体と通信しない）
作成時のインターネット	配信に必要	原則不要
使えるようになるまで	数分	すぐ
作れる数	1 台あたり 1,000 個まで	制限なし
時間の変更・キャンセル	できる	できない
無期限のカギ	作れる	作れない

参照：カギを配る（アプリ・ロッカー・予約）

Q 機器の保証期間はいつまでですか？

ブロックチェーンロックまたは販売店からのご購入日（出荷日）から 1 年間です。製品に同梱の保証書に記載の条件のもとで、郵送での交換にて対応します。機器の故障によって生じた、施工費用を含む直接・間接の損害については責任を負いかねます。保証規定と免責事項の詳細は、同梱の保証書をご確認ください。

Q 取り付け前に、現地を見に来てもらえますか？

導入前の現地でのお打ち合わせ・訪問・立ち会いは行っていません。ご検討中は Zoom でご案内します。お取引のある施工店・工務店があれば、まずそちらにこのマニュアルを見せてご相談ください。KEYVOX に現地調査を依頼される場合は有料となり（調査後のご発注の有無にかかわりません）、施工のご依頼は現地調査のあとに承ります。お申し込みはサポートまでご連絡ください。

参照：**設置前の確認**

Q アプリが使えるスマートフォンを教えてください。

iPhone（iOS）15.0 以上、Android 9.0 以上での動作を推奨しています。安定して動かすため、古い機種は対象外とすることがあります。機器の初期設定とオーナーご自身の解錠には「KEYVOX Basic」を使います。アカウント登録では SMS で認証コードを受け取ります。SMS を受け取れない番号（050 で始まる番号など）の場合は、Google アカウントまたは Apple ID でログインしてください。

参照：**KEYVOX Basic を準備する**

解錠できないとき

Q 正しい暗証番号・QR コードなのに解錠できません。何から確かめればよいですか？

解錠は「① QR1 がカギの正しさを判定する（認証）」「② つないだ機器が実際に開ける（解錠）」の 2 段階です。どちらで止まっているかを先に確かめると、見る場所が決まります。現地では、暗証番号を入れて緑の解錠ボタンを押した直後の QR1 の LED と音で分かります。離れた場所からは、WEB 管理画面の「履歴」のエラーメッセージで確かめます。

QR1 の LED と音	状態	確かめること
赤点灯＋エラー音	認証で止まっている	カギが違う・有効期限切れ・本体に同期されていない
緑点滅 → 赤点灯＋エラー音	認証は成功、解錠で失敗	つないだ機器との接続が切れている
短く緑点灯 → 赤点灯	認証は成功、解錠で失敗	BR1 の管理者暗証番号が変更されていない
数回の赤点灯で受け付けない	ロックアウト中	5 分待つ（続けて間違えると一時的に止まります）
点灯しない・音もしない	電源が入っていない	AC アダプター・電池

- 管理画面の「設定」→「デバイス」→ 該当の機器の「詳細」→「最新情報を取得」で、カギに「同期日時」が入っているかを確かめます。空欄のカギは本体に届いていないので解錠できません。
- すぐに同期させるには、QR1 本体で「緑の解錠ボタン → 1 → 緑の解錠ボタン」を押します（クラウドとの強制同期）。
- オフライン QR コード・オフラインの暗証番号・本体に直接登録した暗証番号・管理者暗証番号は、管理画面の一覧に出ないのが正常です。

参照：**設置後の動作確認**／**日常の保守（ファームウェア・電池・本体コマンド）**

Q キーパッドを押しても QR をかざしても、赤い LED が点滅して受け付けません。

続けて認証に失敗したため、不正な解錠を防ぐ「ロックアウト」になっています。初期設定では 7 回続けて間違えるとロックアウトになり、5 分たつと自動で解除されます（5 分という時間は変えられません）。ロックアウトまでの回数は KEYVOX Basic で変更でき、オフにすることもできます。

参照：QR1 の本体設定を変える

Q QR1 から PiACK II が解錠できません。

Bluetooth の接続が切れている可能性があります。設置環境や距離、周りの Bluetooth 機器との干渉で切れることがありますが、通常は自動でつながり直します。急ぐとき、または戻らないときは次を順に試してください。

- 物理鍵などで室内に入り、PiACK II の電池を抜いて 10 秒ほど待ち、入れ直します。1 分ほどでつながり直します。
- 直らないときは、KEYVOX Basic で QR1 の「ロックの設定」→「ロックを削除する」を行い、もう一度ペアリングします（手順は初回と同じです）。

参照：QR1 と PiACK II・BR1・BX1・WD1 をつなぐ／交換・削除・初期化

Q PiACK II Smart からブザー音が鳴ります。

PiACK II は、LED の表示とブザーの鳴り方で状態を知らせます。製品に同梱の取扱説明書の「LED 表示・ブザー鳴動による状態通知一覧」で、鳴り方に合う状態をご確認ください。

参照：PiACK II の取り付け（本締錠）

Q QR1 と BR1 の Bluetooth 接続が切れます。

接続が切れると、暗証番号・QR コード・遠隔解錠のすべてが使えなくなります（物理鍵や施設側の解錠手段だけが使えます）。BR1 の LED が緑の点滅なら切断、緑の点灯なら正常、消灯なら電源が入っていません。主な原因は電波が届いていないことです。一時的な切断は自動でつながり直すので、くり返す場合は設置環境を見直してください。

- 数分待ちます。30 分待っても戻らないときは次へ進みます。
- BR1 の AC アダプターと、QR1 の給電・電池残量を確かめます。
- BR1 の AC アダプターを抜き、30 秒待って挿し直します。
- 距離を近づけます（見通し 2m 以内が目安）。扉・壁・金属の分電盤が間に入らない位置に置きます。
- BR1 は QR コードが印字されている面を QR1 に向けて設置します。
- 直らないときは再ペアリングします（設定した BR1 の管理者暗証番号が必要です）。
- ファームウェアを最新にします。信号強度は -70dBm 以上が目安です。

参照：電気錠・自動ドアに BR1 をつなぐ／QR1 と PiACK II・BR1・BX1・WD1 をつなぐ

Q QR1 とセサミの Bluetooth 接続が切れます。

扉の厚みや材質によって、Bluetooth が不安定になることがあります。次の 3 点を確かめてください。

- QR1 のファームウェアを最新にします（動作を安定させる更新が出ていることがあります）。
- セサミのアプリから問題なく開閉できるかを確かめます。できないときは、セサミの電池を新品に交換します。
- セサミのアプリに Bluetooth の送信出力を調整する設定がある場合は、出力を最大に上げます。

参照：**QR1 LE とセサミをつなぐ**／**日常の保守（ファームウェア・電池・本体コマンド）**

Q 鍵が開かなくなったとき、当日に来てもらえますか？

オンサイト保守契約（オプション）をご用意していますが、当日の駆けつけには対応していません。電池切れや通信の不調に備えて、物理鍵などの非常用の解錠手段を必ずご用意ください。

インターネット・同期

Q QR1 LE が Wi-Fi につながりません。

まず Wi-Fi ルーターの電源を抜き、30 秒ほど待って入れ直してください。次に、スマートフォンのテザリング（2.4GHz）でつながるかを試します。テザリングでつながる場合は、お使いのネットワーク環境に原因があります。Wi-Fi が切れたときは QR1 が自動でつなぎ直すので、ルーターの再起動のような一時的な不調は数分で戻ります。

- SSID とパスワードが正しいか（大文字・小文字、余分な空白、0 と O・1 と l の取り違え）。
- 2.4GHz 帯の Wi-Fi か。5GHz 帯にはつながりません。2.4GHz と 5GHz で同じ SSID を使う設定（バンドステアリング）は避け、2.4GHz 専用の SSID を用意します。
- パスワードは 31 文字以内か。SSID・パスワードは半角の英数字と記号にします。
- QR1 の位置で信号強度が -70dBm 以上あるか（QR1 はキーパッド側で電波を受けます）。
- ルーターの接続台数の上限、接続端末の制限、MAC アドレスの制限に当たっていないか。
- WPA2-Enterprise、プロキシが必須のネットワーク、ブラウザでの認証が要る公共 Wi-Fi にはつながりません。企業のネットワークで通信を制限している場合は、サポートへご相談ください。
- QR1 本体で「緑の解錠ボタン → 2 → 緑の解錠ボタン」を押すと、ルーターまでつながっているかを確かめられます（緑＝つながっている、赤＝つながっていない）。

参照：**インターネットにつなぐ（Wi-Fi・同期の設定）**

Q WD1（有線LAN）でインターネットにつながりません。

WD1 の緑と青の LED で、どこを確かめるかが決まります。ケーブルやルーターを直したあと、つながるまで最大 5 分かかります。

WD1 の LED	意味	確かめること
緑・青とも消灯	電源が入っていない	付属の AC アダプターまたは PoE と、QR1 LE との専用 USB Type-C ケーブル
緑がゆっくり点滅	QR1 LE とペアリングされていない	再ペアリング（リセットボタンを長押しするとペアリングが消えます）
緑が速く点滅	ファームウェアの更新中など	終わるまで待つ
緑点灯・青点滅	サーバーにつながっていない	LAN ケーブル（別のケーブル・ポートも試す）、ルーターの再起動
緑点灯・青点灯	正常	管理画面がオフラインのままなら、QR1 本体で強制同期

- QR1 LE と WD1 をつなぐ USB Type-C ケーブルは専用品です。市販のケーブルは使えません。
- PoE は Type 2〜4 に対応しています（Type 1 は非対応）。LAN ケーブルはカテゴリー 5e 以上を使います。
- 先に Wi-Fi を設定していると有線LANが使われません。KEYVOX Basic の「インターネット接続設定」で Wi-Fi の設定を削除してから、「有線LANでインターネットに接続する」を選び直します。
- ペアリング済みで届いた機器が管理画面に表示されている場合は、むやみにペアリングをやり直さないでください。

参照：**電気錠・自動ドアに WD1 をつなぐ**／**QR1 と PiACK II・BR1・BX1・WD1 をつなぐ**

Q 発行したカギが QR1 に同期されません。

Wi-Fi の同期頻度を「同期しない」「○時間ごと」にしていると、カギは次の同期のタイミングまで本体に届きません。AC アダプターで給電しているなら「常時接続」、電池なら「6 時間ごと」などにします。本体設定の「カギがない場合はクラウドに問い合わせる」をオンにすると、同期の前でも、入力されたカギをその都度クラウドに確かめて解錠できます（誤入力やいたずらが多い場所では電池の消耗が早くなります）。

- すぐに同期させるには、QR1 本体で「緑の解錠ボタン → 1 → 緑の解錠ボタン」を押します。
- 発行した直後は、本体に届くまで数分かかります。
- 予約と機器の関連付け、予約の日時が合っているかを確かめます。
- 1 台に登録できるカギ（オンラインの暗証番号・QR コード）は 1,000 個までです。上限に達したら、終わった予約のカギや使わないアクセス権を削除します。
- ファームウェアが最新か、インターネットにつながっているかを確かめます。

参照：**インターネットにつなぐ（Wi-Fi・同期の設定）**／**日常の保守（ファームウェア・電池・本体コマンド）**

Q アプリから QR1 の設定をするとエラーになります。

管理者暗証番号の変更が最後まで終わっていない可能性があります。設定用の QR コードを QR1 に読み取らせたあと、緑の LED を確かめてから、アプリで必ず「次へ」を押してください。「次へ」を押さないと設定が保存されず、そのあとの操作がすべてエラーになります。

参照：**QR1 をアカウントに登録する（管理者暗証番号の設定）**

設定と日々の運用

Q 「ロックの更新に失敗しました」というメールが届きました。

カギの情報を機器に届けられなかったときの通知です。原因はインターネットの切断か、Bluetooth の切断のどちらかで、メールの本文に書かれています。工事中などで通知が要らないあいだは、WEB 管理画面の「設定」→「各種メール設定」で止められます（配信の頻度と送信先もここで変えられます）。運用を始めたら必ずオンに戻してください。

切れているもの	影響	対処
インターネット	新しく発行したカギと遠隔解錠が使えない（発行済みのカギとオフライン QR コードは使える）	QR1 の位置で Wi-Fi の信号強度が -70dBm 以上になるように整える
Bluetooth	物理鍵以外では解錠できない	物理鍵で解錠し、再ペアリングする。くり返すなら設置環境を見直す

参照：インターネットにつなぐ（Wi-Fi・同期の設定）／QR1 と PiACK II・BR1・BX1・WD1 をつなぐ

Q BX1 の電池残量が表示されません。

BX1 の電池残量は、主に開閉のときに取得します。残量が空欄・0% のまま、または更新されないときは、KEYVOX Basic か QR1 から一度解錠してください。

参照：BX1 をアプリで使う（KEYVOX Basic）

Q セサミのオートロックを使わずに運用できますか？

できます。セサミ側のオートロックをオフにした場合は、QR1 本体の左下の施錠ボタンで施錠します。QR1 LE とセサミのファームウェアが古いと正しく動かないことがあるので、どちらも最新にしてからお使いください。

参照：QR1 LE とセサミをつなぐ

SUPPORT

手順でわからないことは、
サポートまでご連絡ください。

取り付け後の確認のご依頼や、機器の動作でお困りのときも、サポートポータルからお問い合わせいただけます。

サポートポータル

お問い合わせ・取り付け確認のご依頼

support.keyvox.co

Web 版マニュアル

最新の手順・PDF のダウンロード

keyvox.co/manuals

・本書の内容は改訂日時点のものです。製品の改良により、仕様・画面・手順は予告なく変わることがあります。
・本書の図はイラストです。実際の製品と細部が異なる場合があります。
・記載の会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

keyvox
ブロックチェーンロック株式会社

KV-H00　REV. 2026.11.06
© 2026 ブロックチェーンロック株式会社